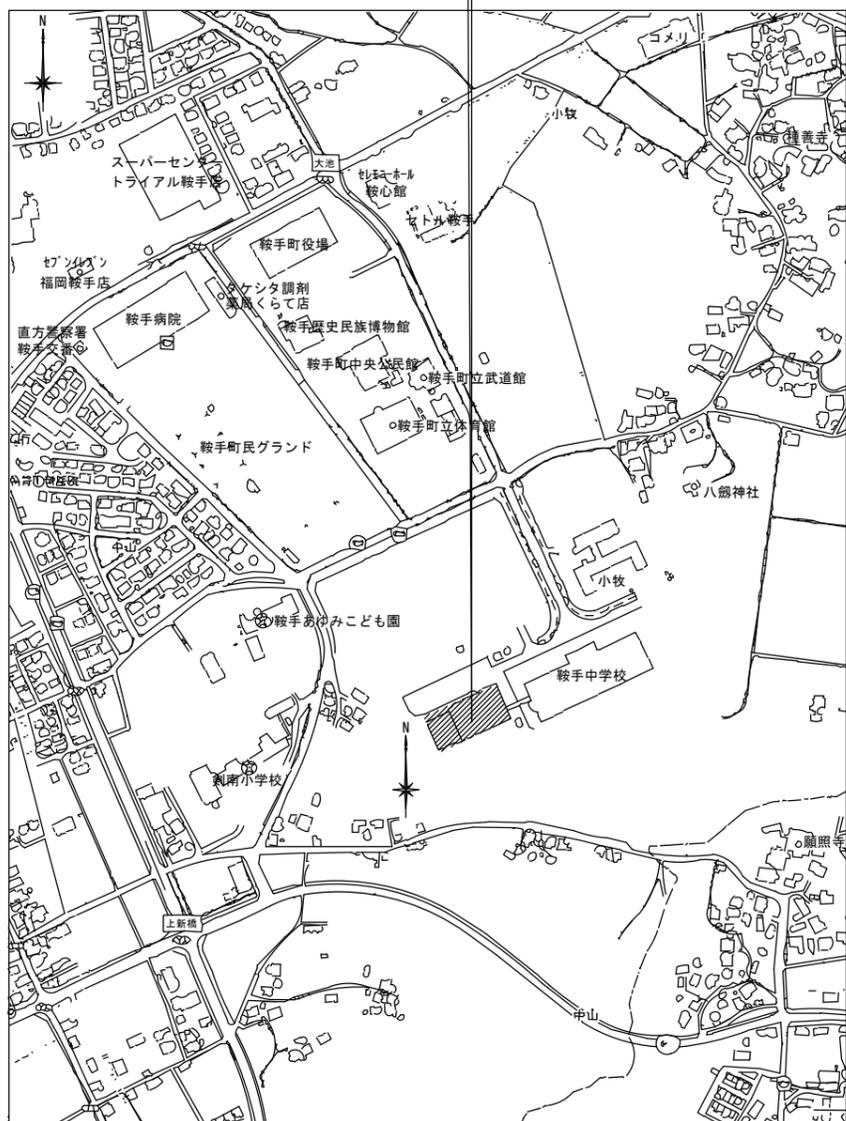






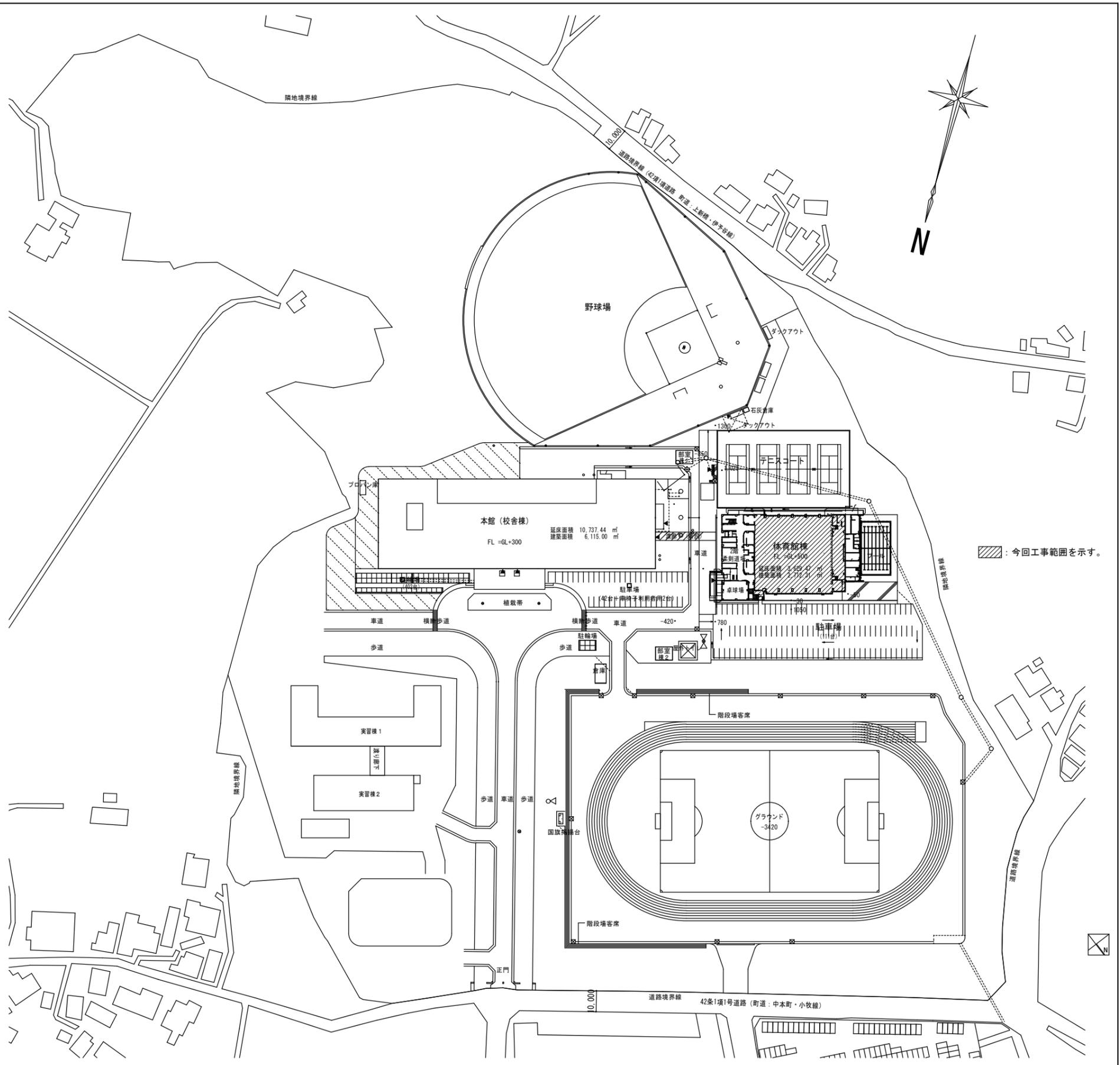


工事場所：福岡県鞍手郡鞍手町小牧2122-1



附近見取図

- 工事上の注意事項**
- 仮設施設計画書を提出後、監督員の承認を得ること。
  - 足場設置の可能な期間はR8.11月～R9.2月までとし、この期間内に機器類の設置ができるように、機器類の発注を行うこと。
  - 平日（月～金）の作業終了時間は、16:30までとすること。
  - 土日祝日における作業実施については、学校管理者との打ち合わせを要することとし、原則として土曜日の13時00分までは作業しない。
  - やむを得ず、上記2・3以外の期間や日時に工事を行う場合は、事前に学校管理者と協議し、承諾を得ること。
  - 工事車両は、登下校集中時（登校時間：7:30～8:30、下校時間16:00～17:00、スクールバス発車前18:00頃、19:15頃）は、避けて出入りを行うこと。
  - 工事車両と生徒との動線が重なる部分は安全対策を徹底し、大型車両の搬入・搬出時は交通誘導員が誘導し、事故防止に努めること。時は交通誘導員が誘導し、事故防止に努めること。
  - 大型車両の通りはカラーコーン等を設置して、安全対策を図り、事故防止に努めること。
  - 工事ヤードについては学校管理者と打合せを行うこと。
  - 側溝・土間等に重機が入る可能性がある部分は、鉄板敷等で養生すること。
  - 工事中やその他工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は、現況復旧すること。



配置図 S=1/1000

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12250号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事（アリーナ）  
 図面名称  
附近見取図・配置図

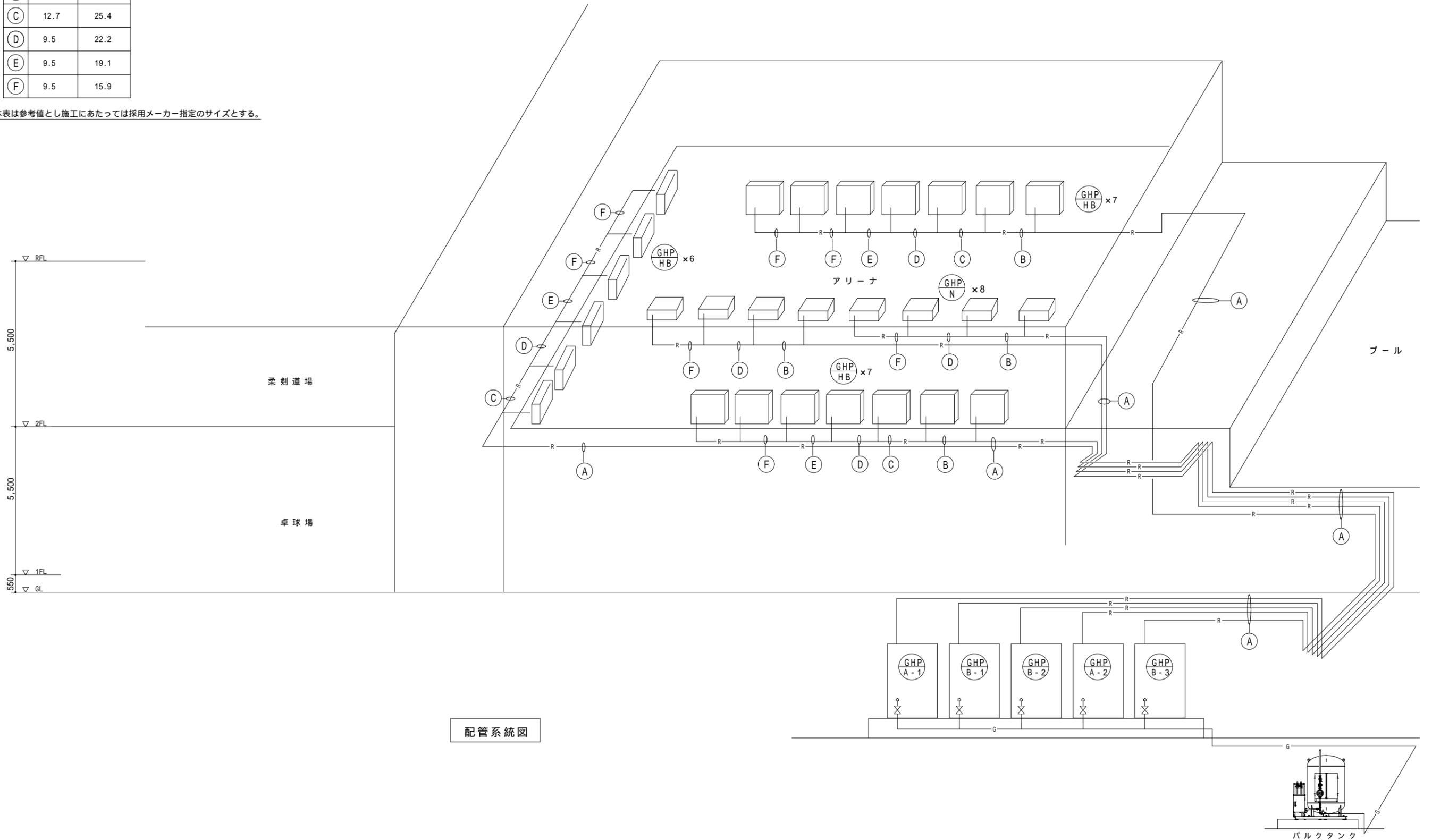
縮尺  
A3 1/2000  
A1 1/1000

図面番号  
M-03

訂	1	.....
正	2	.....
	3	.....
	4	.....

記号	液管サイズ	ガス管サイズ
(A)	15.9	28.6
(B)	12.7	28.6
(C)	12.7	25.4
(D)	9.5	22.2
(E)	9.5	19.1
(F)	9.5	15.9

本表は参考値とし施工にあたっては採用メーカー指定のサイズとする。



配管系統図

訂	1
正	2
	3
	4

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
 図面名称  
 配管系統図

縮尺  
 —

図面番号  
 M-04

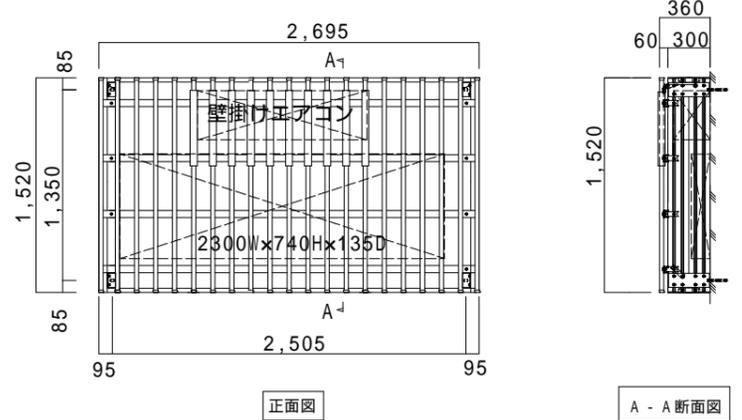
凡例

記号	名称	仕様	規格	備考
R	冷媒管	空調用断熱材被覆鋼管	JIS H 3300	室外内機器渡り配線含む。
D	ドレン管	屋内一般露出部、隠蔽部 : 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)	JIS K 6742	
		屋外露出部 : 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーV P)	JIS K 6742	
		屋外機排水管 : 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (H T V P)	JIS K 6776	GHP屋外機排水ドレン
		屋外土間埋設部 : 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)	JIS K 6742	GHP屋外機凝縮水ドレン
G	ガス管	屋外露出部 : 硬質塩化ビニル外面ライニング鋼管 (V I)	JIS G 3452 JIS K 6720	JIS G 3452へJIS K 6720の硬質塩化ビニル樹脂を外面被覆
		地中埋設部 : ポリエチレン管 (P E)	JIS K 6774	

空調設備 機器一覧表

機器番号	機器名称	性能・仕様	電気仕様		数量	設置場所及び系統	備考
			電圧	容量 (kW)			
GHP A-1	ガスヒートポンプパッケージ形	型式 : マルチ自己発電、冷暖切換型、高効率タイプ	3 200V	非発電時	2	屋外機置場	コンクリート基礎・建築工事図面による
	空気調和機 (室外機) : 親機	冷房能力 : 56.0kW 暖房能力 : 63.0kW		(冷房) 1.33			ネットフェンス : 建築工事図面による
GHP A-2	燃料 : LPG	自立時冷房能力 (目安) : 45.0kW 暖房能力 : 50.0kW		(暖房) 1.19			
		送風機 : 0.75kW x 2		発電時			
		停電時発電容量 (最大接続容量) : 3.0kVA		(冷房) 0.13			
		付属品 : 自立工外盤 (切替スイッチ盤共) 3台セット x 1、2台セット x 1 計2セット		(暖房) 0.13			
		冷媒分岐管 他一式					
GHP B-1	ガスヒートポンプパッケージ形	型式 : マルチ自己発電、冷暖切換型、高効率タイプ	3 200V	非発電時	3	屋外機置場	コンクリート基礎・建築工事図面による
	空気調和機 (室外機) : 子機	冷房能力 : 56.0kW 暖房能力 : 63.0kW		(冷房) 1.33			ネットフェンス : 建築工事図面による
GHP B-2	燃料 : LPG	自立時冷房能力 (目安) : 45.0kW 暖房能力 : 50.0kW		(暖房) 1.19			
		送風機 : 0.75kW x 2		発電時			
GHP B-3		停電時発電容量 (最大接続容量) : 3.0kVA		(冷房) 0.13			
		付属品 : 冷媒分岐管 他一式		(暖房) 0.13			
GHP N	ガスヒートポンプパッケージ形	型式 : 天井吊形	1 200V	(冷房) 0.16	8	アリーナ2階	
	空気調和機 (室内機)	冷房能力 : 14.0kW 暖房能力 : 16.0kW		(暖房) 0.16			
		付属品 : Dガソイラ、7作ドレドレダ付 x 2 (8台当たり)					リモコンスイッチ4台同時運転 x 2
GHP HB	GHP屋内機 + 輻射パネルユニット	壁掛設置タイプ	1 200V	(冷房) 0.055	20	アリーナ1階	
	防球保護付	冷房能力 : 7.1kW 暖房能力 : 8.0kW		(暖房) 0.055			
		付属品 : Dガソイラ、7作ドレドレダ付 x 3 (20台当たり)					リモコンスイッチ7台同時運転 x 2 6台同時運転 x 1
	集中リモコンスイッチ	運転/停止、モード変更、集中個別切り替、週間プログラム 等の機能付			1		検査棟 職員室
PF 1	有圧換気扇	型式 : 低騒音型有圧換気扇 6P (電気式シャッター付) 450	1 100V	0.2	4	アリーナ2階	
	排気用	送風量 : 3,260 m3/h 機外静圧 : 70 Pa					
		付属品 : SUS製ウェザーカバー (防鳥網付)、保護ガード他付属品					

特記事項  
 1) 電気容量は参考値とする。  
 2) 機器能力は表記の数値以上とする。  
 3) 機器仕様は製造者標準仕様とする。



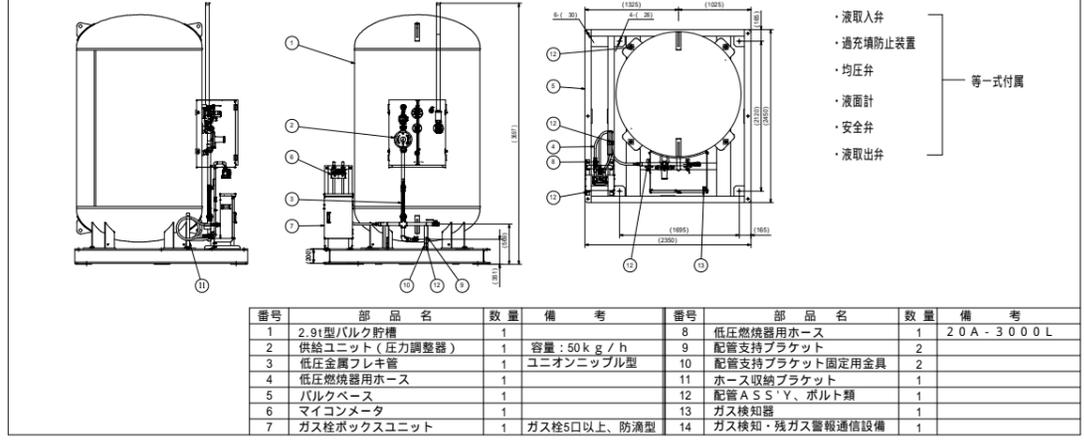
GHP HB 詳細図 (参考図)

バルク貯槽仕様表

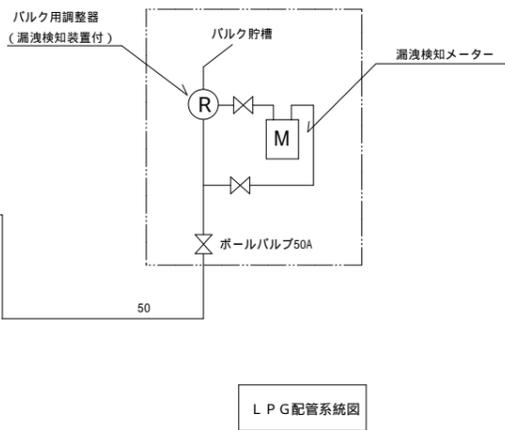
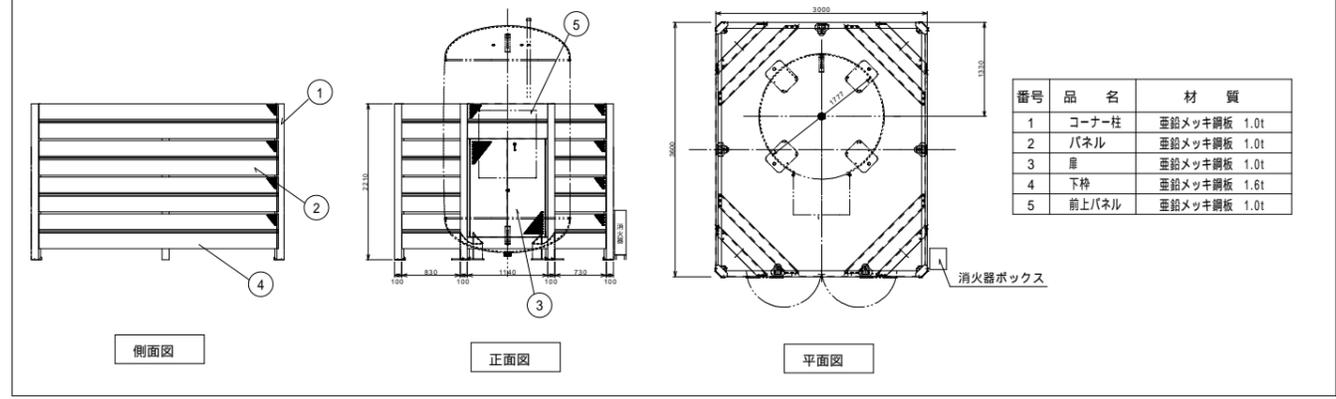
機器番号	機器名称	性能・仕様	数量	設置場所及び系統	備考
GB-1	バルクタンク貯槽	型式 : 自然気化式 い号プロパン	1	バルクタンク置場	コンクリート基礎・建築工事
		バルク貯槽 : 地上式、縦型、充填ガス量 2,900kg 付属品 : 調整器、圧力計、漏洩検知装置、超音波式液面計、その他付属品 バルクタンクフェンス、ガス栓ボックスユニット (5口以上)			
	消火器	A B C 10型 蓄圧式	1	バルクタンク置場	別途工事 (備品)
	消火器保管箱	蓄出型 S U S 製 A B C 10型 1 本用	1	バルクタンク置場	

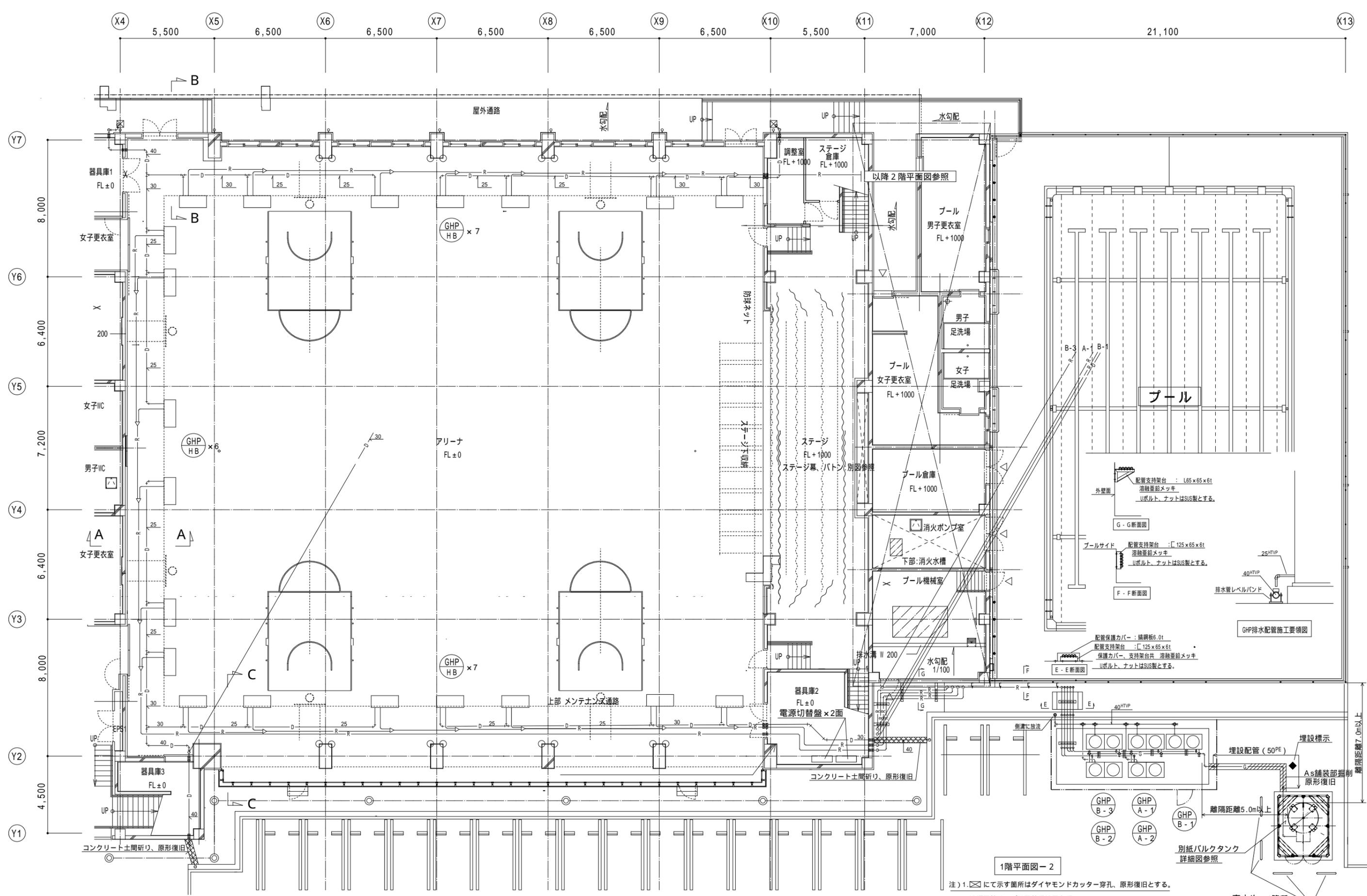
注) (1) ガスバルク貯槽のガス残量計測を行い、警報信号を P H S 回線にてガス供給事業者へ送信する。(ガス供給事業者工事)  
 (2) 警報信号は、過充填レベル警報 補給警報 下層警報とする。なお、各警報におけるバルク貯槽量は監督職員、監理者と協議し、決定する事とする。  
 (3) バルク貯槽は、アース接地他、「液化石油ガス法」に適合した安全対策等を行う事。  
 (4) バルク貯槽等の試運転は、実際にガスを充填し行う事。(試運転用のガス充填費用は施工者の負担とする)ガス供給事業者の選定は監督職員、監理者と協議し決定する事とする。

GB-1 ガスバルク貯槽詳細図 (参考図)



バルクタンク用フェンス詳細図 (参考図)





1階平面図-2

注) 1.  $\diamond$ にて示す箇所はダイヤモンドカッター穿孔、原形復旧とする。  
 2. 冷媒配管サイズは配管系統図参照

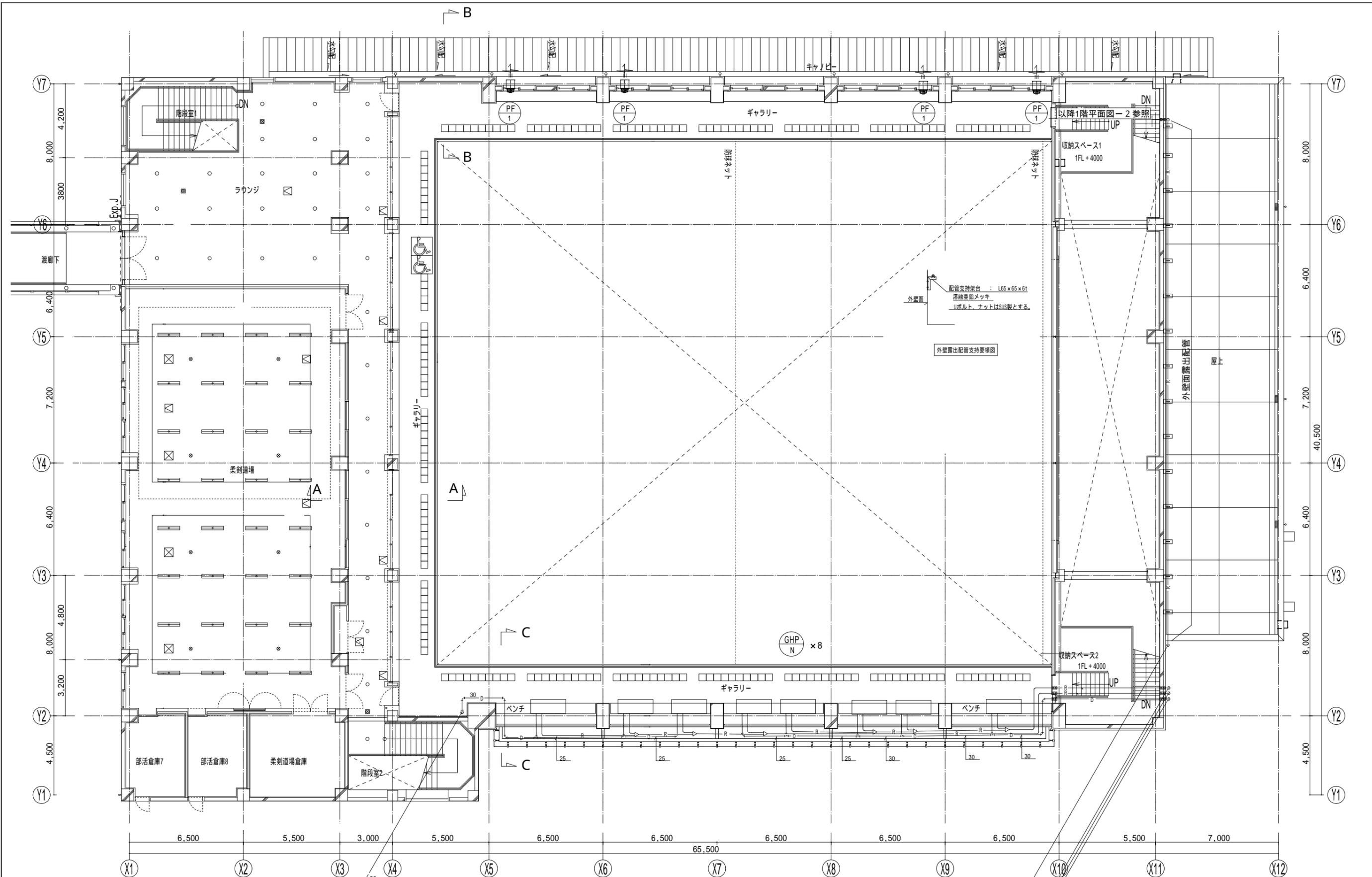
訂	1
正	2
	3
	4

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡築紫町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
 図面名称  
 1階平面図

縮尺  
 A1 1/100  
 A3 1/200

図面番号  
 M-06



2階平面図

- 注) 1. にて示す箇所はダイヤモンドカッター穿孔、原形復旧とする。
2. ● にて示す箇所は防火区画貫通部を表す。  
防火区画貫通部は、建築基準法施工令第129条の2の5第1項第7号の規定に適合する工法、材料で施工すること。
3. 冷媒配管サイズは配管系統図参照

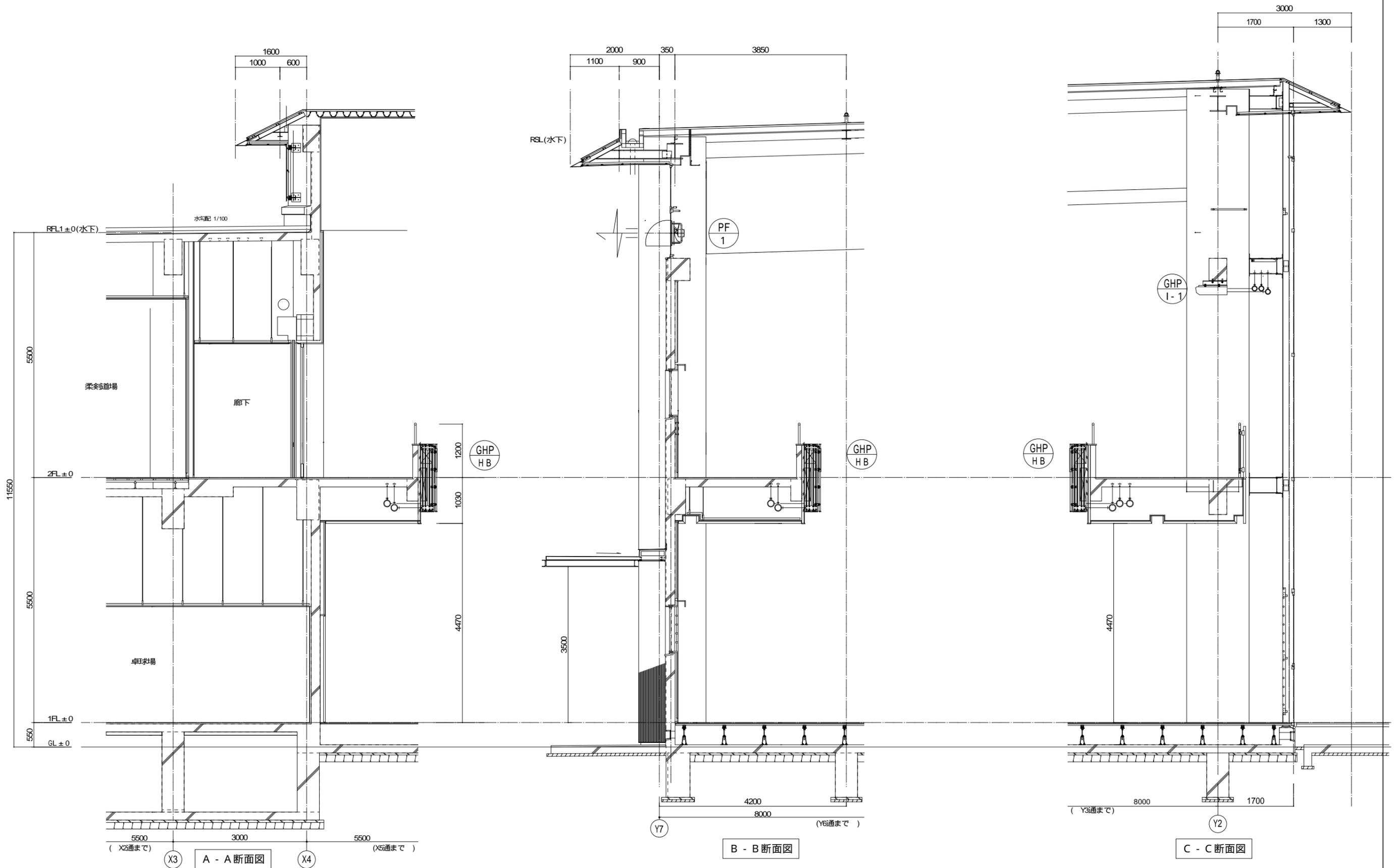
(公財) 福岡県建設技術情報センター  
〒811-2416 福岡県糟屋郡築紫町中3丁目10-20  
1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号  
1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
図面名称  
2階平面図

縮尺  
A1 1/100  
A3 1/200

図面番号  
M-07

訂正  
1  
2  
3  
4



A - A 断面図

B - B 断面図

C - C 断面図

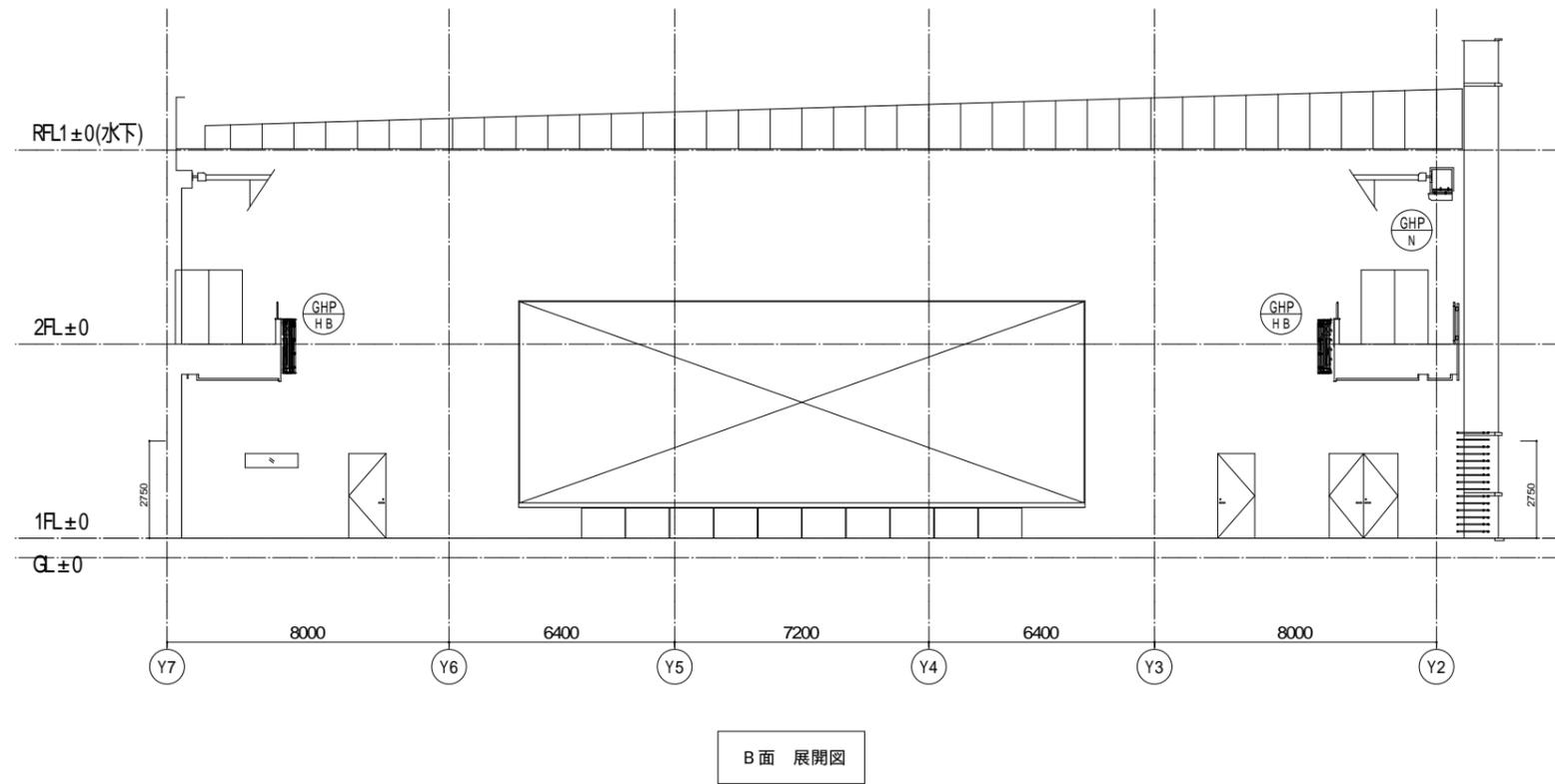
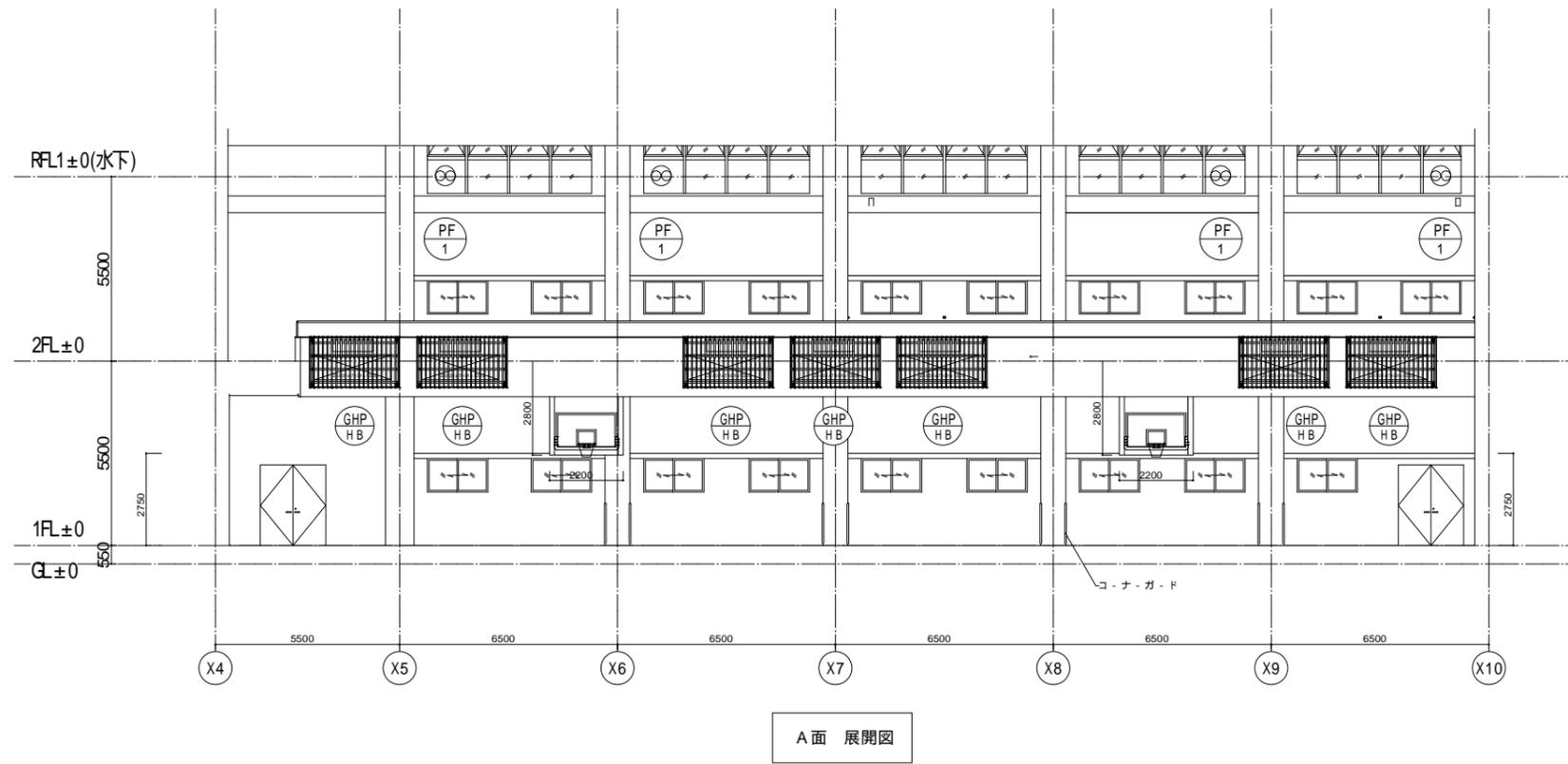
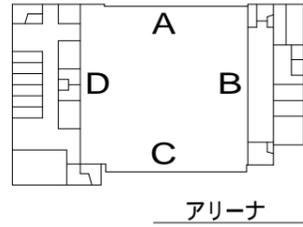
(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
 図面名称  
 断面詳細図

縮尺  
 A1 1/40  
 A3 1/80

図面番号  
 M-08

訂	1
正	2
	3
	4



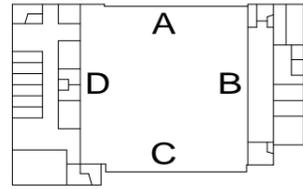
訂	1
	2
正	3
	4

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

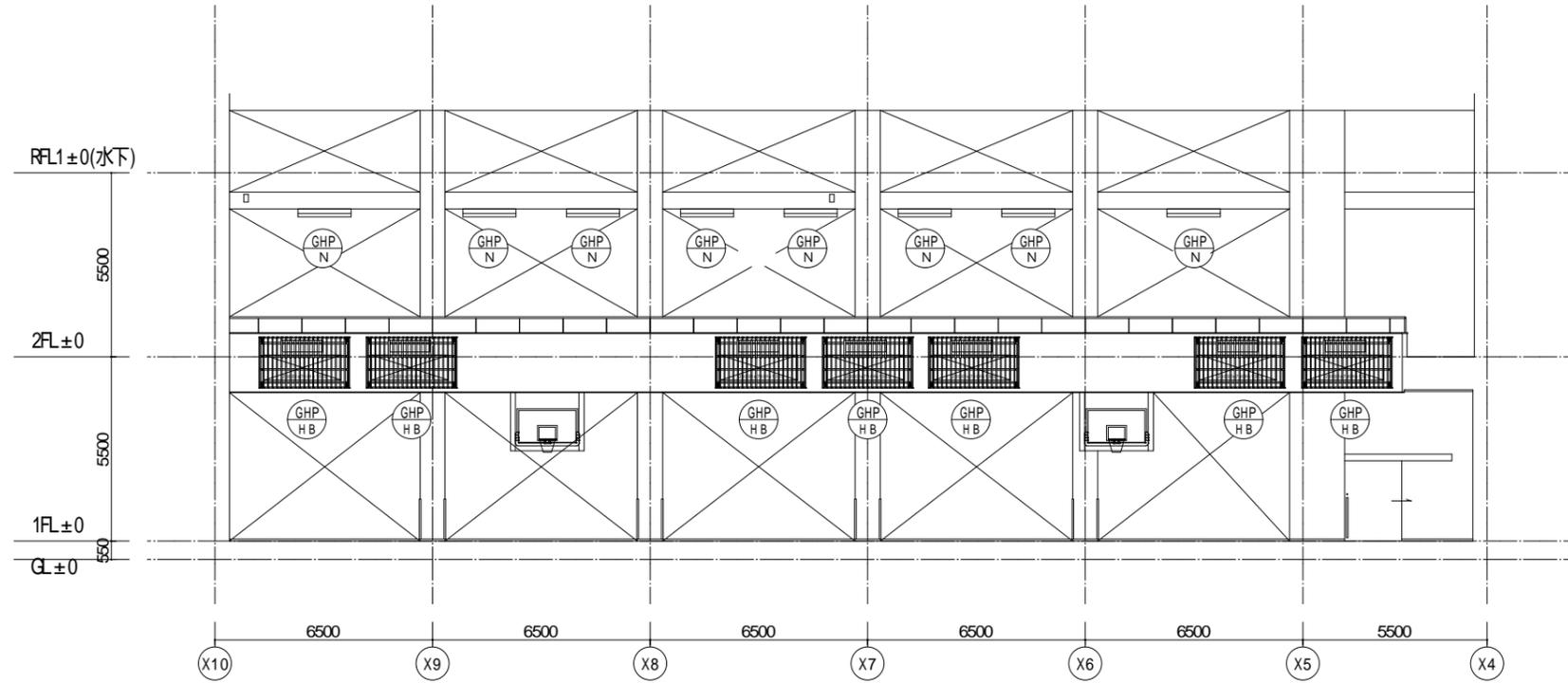
工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
 図面名称  
 展開図-1

縮尺  
 A1 1/100  
 A3 1/200

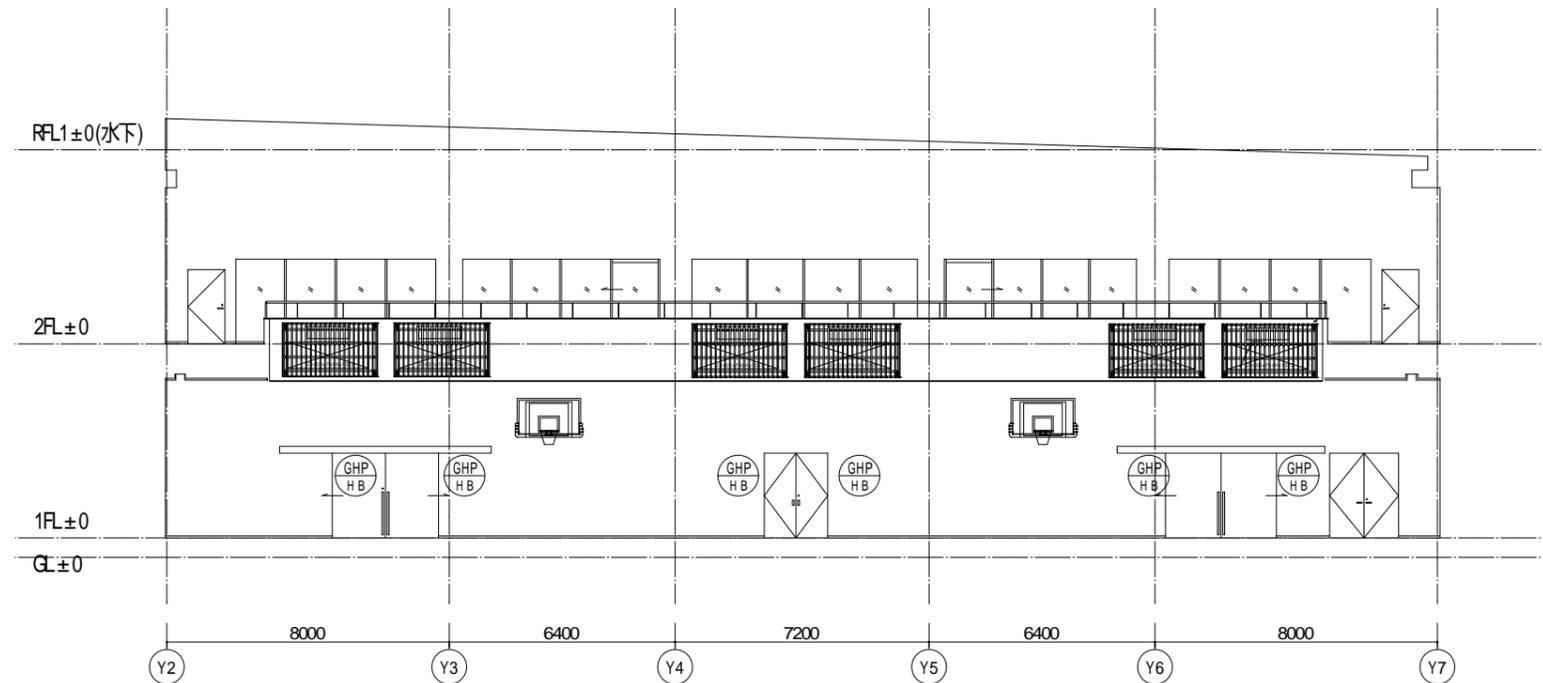
図面番号  
 M-09



アリーナ



C面 展開図



D面 展開図

訂  
正

1  
2  
3  
4

(公財) 福岡県建設技術情報センター

〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号  
1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504



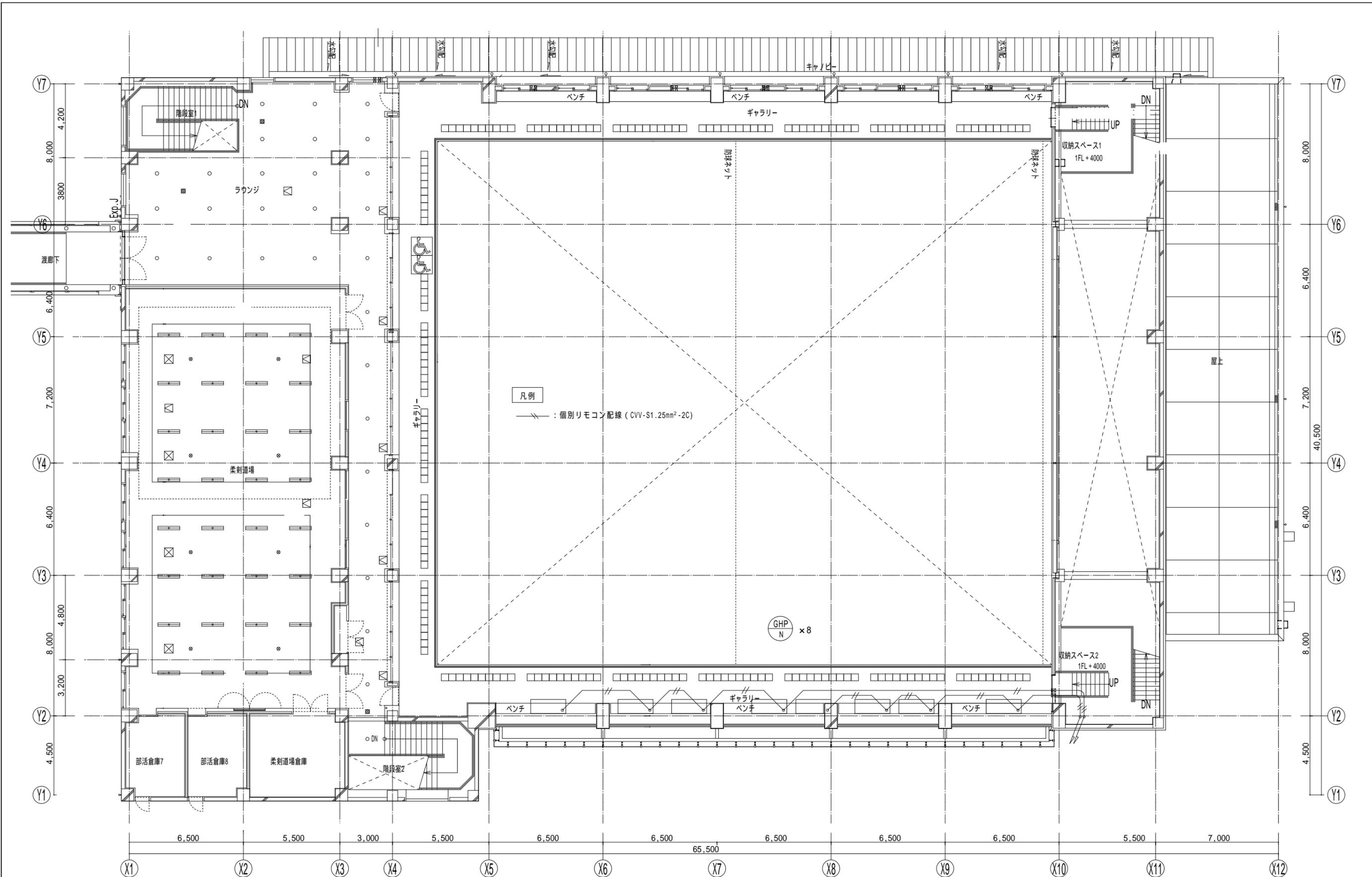
工事名称  
鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)

図面名称  
展開図-2

縮尺  
A1 1/100  
A3 1/200

図面番号  
M-10





2階平面図 ☒にて示す箇所はダイヤモンドカッター穿孔、原形復旧とする。

訂 正	1	(公財) 福岡県建設技術情報センター 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504	工事名称 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ) 図面名称 リモコン配線 2階平面図	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-12
	2				
	3				
	4				

# 電気設備工事特記仕様書

I. 工事名称 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事（アリーナ）

## II. 工事概要

1. 工事場所 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧2122-1

### 2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	防火対象物の種別	備考
体育館	RC	2階	3,629.47	第7項	
本館	RC	2階	10,737.44	第7項	

3. 工事種目 (○印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別				
	体育館	本館	屋外	備考	
○電灯設備	改修 一式	一式	一式		
○動力設備	改修 一式	改修 一式	一式		
・電気自動車用充電設備	一式	一式	一式		
・雷保護設備	一式	一式	一式		
○受変電設備	一式	改修 一式	一式		
・電力貯蔵設備	一式	一式	一式		
・発電設備	一式	一式	一式		
・構内情報通信網設備	一式	一式	一式		
・構内交換設備	一式	一式	一式		
・情報表示設備	一式	一式	一式		
・映像・音響設備	一式	一式	一式		
・拡声設備	一式	一式	一式		
・誘導支援設備	一式	一式	一式		
・テレビ共同受信設備	一式	一式	一式		
・監視カメラ設備	一式	一式	一式		
・防犯・入室管理設備	一式	一式	一式		
・火災報知設備	一式	一式	一式		
・中央監視制御設備	一式	一式	一式		
・遠隔量水器設備	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		
○構内配電線路	改修 一式	改修 一式	一式	改修 一式	
○構内通信線路	改修 一式	改修 一式	一式	改修 一式	
・	一式	一式	一式		

## III. 工事仕様

### 1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年版）」 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修  
年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。  
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、発注者及び監理者と協議すること。

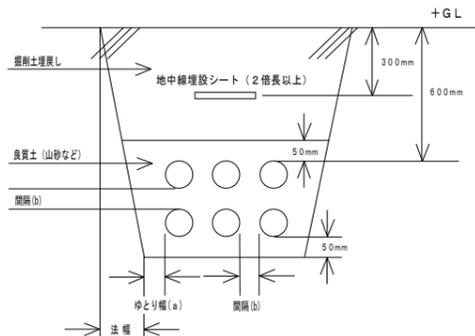
### 2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準等による。

- 「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
- 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
- 「建築工事標準詳細図（建築工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- 「電気設備工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「機械設備工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「建築工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「建築改修工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」 独立行政法人 建築研究所監修
- 「建築工安全施工技術指針・同解説」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- 「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局
- 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石棉飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」  
厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課
- 「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」 環境省環境再生・資源循環局
- 「建築工事の手引き」（公財）福岡県建設技術情報センター編集  
年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。  
ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、発注者及び監理者と協議すること。

### 3 特記仕様

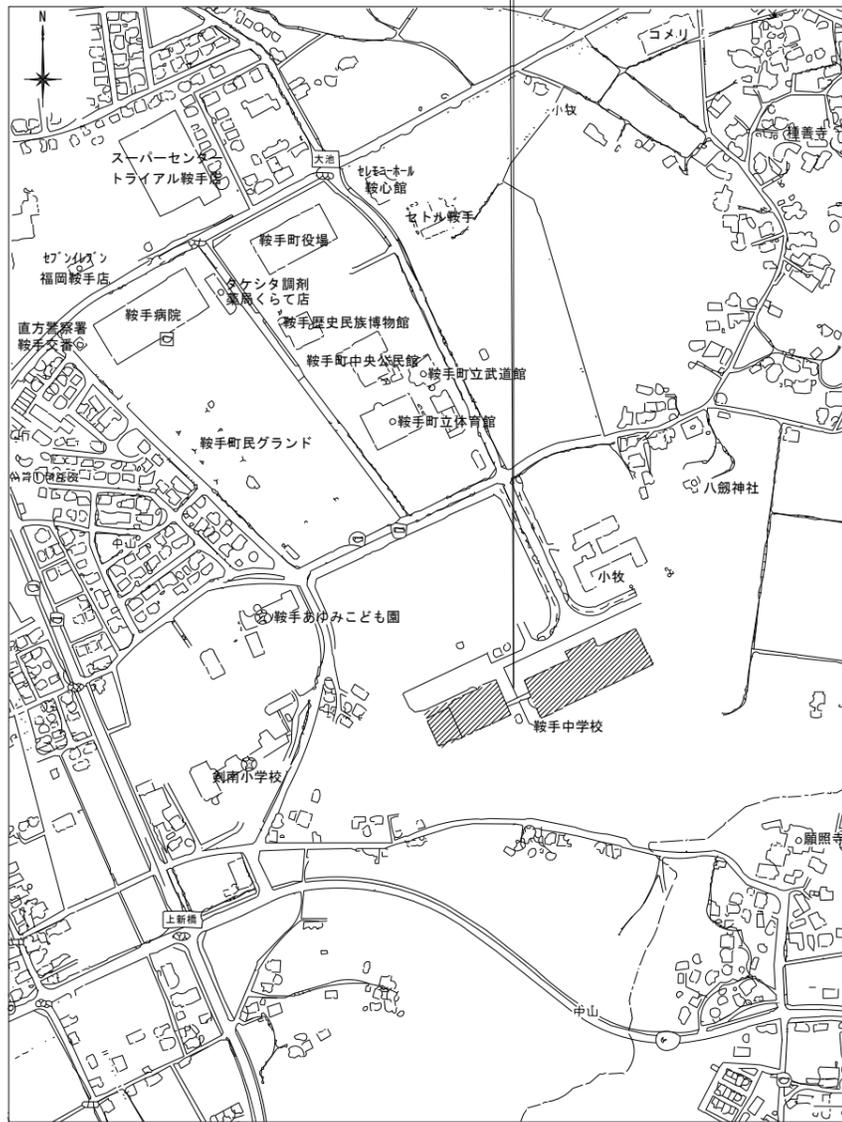
- 該当する項目のみ適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。

項目	特記事項																													
① 機材	この工事に使用する機材は、監督職員の承認を受ける。 なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。 また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。																													
② 電気工作物	・ 一般用電気工作物 ○ 事業用電気工作物																													
③ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。																													
④ 工事に必要な資格（建設業法に關することを除く）	この工事に必要な資格（電気工事士等）を有する者を従事させること。																													
⑤ 官公庁その他への手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を受注者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。																													
⑥ 監督員事務所	○ 設けない ・ 設ける（備品については監督職員の指示による。）																													
⑦ 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力（仮設電力及び試運転駆動用電力等を含む）・水及び諸手続等の費用は、すべて受注者の負担とする。																													
⑧ 総合仮設計画	○ 要する ・ 要しない																													
⑨ 足場・構台	○ 他工事 ・ 本工事 ・ 他工事 ・ 本工事																													
10 仮囲い等危険防止措置	監督職員の指示及び工事の手引きによる。																													
⑩ 工事表示板等	工事用車両の出入口では、一般通行者及び一般車両の安全確保に努めること 交通誘導員は適宜配置する。																													
⑪ 工事車両の出入り口	・ 構内指示の場所に数均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出適切処理 ・ 施工区分表による ○ 図中記載による																													
13 残土処分																														
⑬ 他工事との取合い																														
⑭ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃並びに絶縁抵抗測定を取外し前後で行った後、取り付けること。 但し、絶縁劣化等再使用に耐えない場合は、監督職員に報告すること。																													
⑮ 耐震施工	設備機器の固定は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針」（2014年版）によるものとする。 (1) 設計用標準震度 (Ks) 機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表より求める。 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.0 (1.5)</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>0.6 (1.0)</td></tr><tr><td>地階及び1階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.4 (0.6)</td></tr></tbody></table> ( ) 書きの数字は防振支持の機器の場合に適用する。 (2) 耐震安全性の分類 (・特定の施設 ・一般の施設) (3) 地域係数 (Z) 地域係数 (Z) は、1.0とする。	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	地階及び1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)
設置場所	耐震安全性の分類																													
	特定の施設		一般の施設																											
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																										
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																										
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																										
地階及び1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																										
⑯ 合成樹脂製可とう電線管	環境対応型合成樹脂製可とう管 (P F 管) の一重管とする。なお、打込配管として使用する場合は、原則として呼び径を22mmとする。 また鉄筋等への結束や配管の支持を行う場合は、樹脂被覆を施したバンド線を用いること。																													
⑰ プレートの材質	○ 金属製 (防水形配線器具を除く) ・ 樹脂製																													
⑱ 露出配管等の塗装	屋内においては特記がなければ、F☆☆☆☆製品とし、屋外においても低VOC塗料の使用に努めること。																													
20 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管は電線太さ 1.2mm 以上の樹脂被覆鉄線管を挿入する。																													
⑳ 表示	スイッチ・コンセント及びプルボックスで用途の判別し難いものは、表示する。																													
22 地中線埋設シート	地下埋設の線路には、標識シートを2倍長以上重ね合わせて布設するものとする。																													
23 地中埋設管	電力用 (矢指色: 赤色) ・ 樹脂製 ・ コンクリート製 ・ 鉄製 通信用 (矢指色: 黄色) ・ 樹脂製 ・ コンクリート製 ・ 鉄製																													
24 地中埋設配管 (GL-600の準拠)	 <p>根切り深さが1.5m未満の場合は直掘り工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。 法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。 床掘り幅は、埋設管類などの外径（底面）の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。 ゆとり幅 (a) 及び埋設管相互の間隔 (b) は、下表を参照のこと。</p> <table border="1"><thead><tr><th>ゆとり幅 (a)</th><th>埋設管の呼び径</th><th>間隔 (b) (左右・上下)</th></tr></thead><tbody><tr><td>根切り深さ 1m未満</td><td>50以下</td><td>50mm</td></tr><tr><td>根切り深さ 1以上1.5m未満</td><td>150 #</td><td>70mm</td></tr><tr><td>根切り深さ 1.5m以上</td><td>200 #</td><td>100mm</td></tr></tbody></table>	ゆとり幅 (a)	埋設管の呼び径	間隔 (b) (左右・上下)	根切り深さ 1m未満	50以下	50mm	根切り深さ 1以上1.5m未満	150 #	70mm	根切り深さ 1.5m以上	200 #	100mm																	
ゆとり幅 (a)	埋設管の呼び径	間隔 (b) (左右・上下)																												
根切り深さ 1m未満	50以下	50mm																												
根切り深さ 1以上1.5m未満	150 #	70mm																												
根切り深さ 1.5m以上	200 #	100mm																												

25 接地極	強電配線・弱電配線・その他配管等について、定められた離隔を考慮すること。 多条敷設により埋設管同士を密着させる場合は、「JIS C 3653 (附属書含む)」及び「電気設備に関する技術基準を定める省令」における関連事項に適合した資材の使用、及び施工を行うこと。 また、電線相互の接近により誘導障害が生じおそれがある場合は、多条敷設を行わないこと。 接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地90以上×140以上×1.0t以上 (真鍮製・刷印) を設置すること。なお、接地棒 EB (14) φ の長さは1,500mm以上とし、10φ・14φは、W=40として差し支えない。 <table border="1"><thead><tr><th>接地の種類</th><th>記号</th><th>接地抵抗値</th><th>接地極・注記</th></tr></thead><tbody><tr><td>共同</td><td>E<sub>A+C-D</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>共同</td><td>E<sub>A+D</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>A種</td><td>E<sub>A</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>B種</td><td>E<sub>B</sub></td><td>150/1Ω以下</td><td>電気事業者へ確認</td></tr><tr><td>C種</td><td>E<sub>C</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>D種</td><td>E<sub>D</sub></td><td>100Ω以下</td><td>E<sub>L</sub>C<sub>B</sub>共</td></tr><tr><td>雷保護設備</td><td>E<sub>LA</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>高圧避雷器</td><td>E<sub>LH</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>低圧避雷器</td><td>E<sub>LL</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>交換機用</td><td>E<sub>L</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>本配線盤の保安装置</td><td>E<sub>HL</sub></td><td>10Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>電話引込口・アンテナ保安器</td><td>E<sub>LT</sub></td><td>100Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>拡声用地幅器</td><td>E<sub>DL</sub></td><td>100Ω以下</td><td></td></tr><tr><td>測定用</td><td>E<sub>0</sub></td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。 本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内交換装置 ・ 機器電取付け ・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 ・ 配線のみ本工事 本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 機器取付調整 ・ 配管配線まで本工事 ・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 LANケーブルの種類・色 ・ 幹線 LAN (CAT6A) : 赤色 ・ 認証ネットワーク : 指定なし ・ その他 : 指定なし ガス漏れ警報装置 検知器 ・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用 監視カメラ設備工事範囲 ・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事 防犯設備工事範囲 ・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事 入退室管理設備工事範囲 ・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事 ⑳ 躯体貫通場所 躯体貫通箇所においては探査機を使用し、コンクリート内配管を避け貫通すること。 24 発電機回路コンセント 発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。 プレート色は監督職員の指示による。 25 マンホールハンドホール蓋 用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刷印をすること。 ㉑ プルボックス 屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。 27 撤去後の補修 機器類の撤去後の取付ボルト孔、変色等は監督職員指示により補修を行う。 ㉒ 屋外の支持金物 屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶融亜鉛メッキ仕上げ又はステンレス鋼製とする。	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極・注記	共同	E <sub>A+C-D</sub>	10Ω以下		共同	E <sub>A+D</sub>	10Ω以下		A種	E <sub>A</sub>	10Ω以下		B種	E <sub>B</sub>	150/1Ω以下	電気事業者へ確認	C種	E <sub>C</sub>	10Ω以下		D種	E <sub>D</sub>	100Ω以下	E <sub>L</sub> C <sub>B</sub> 共	雷保護設備	E <sub>LA</sub>	10Ω以下		高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	10Ω以下		低圧避雷器	E <sub>LL</sub>	10Ω以下		交換機用	E <sub>L</sub>	10Ω以下		本配線盤の保安装置	E <sub>HL</sub>	10Ω以下		電話引込口・アンテナ保安器	E <sub>LT</sub>	100Ω以下		拡声用地幅器	E <sub>DL</sub>	100Ω以下		測定用	E <sub>0</sub>	—	
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極・注記																																																										
共同	E <sub>A+C-D</sub>	10Ω以下																																																											
共同	E <sub>A+D</sub>	10Ω以下																																																											
A種	E <sub>A</sub>	10Ω以下																																																											
B種	E <sub>B</sub>	150/1Ω以下	電気事業者へ確認																																																										
C種	E <sub>C</sub>	10Ω以下																																																											
D種	E <sub>D</sub>	100Ω以下	E <sub>L</sub> C <sub>B</sub> 共																																																										
雷保護設備	E <sub>LA</sub>	10Ω以下																																																											
高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	10Ω以下																																																											
低圧避雷器	E <sub>LL</sub>	10Ω以下																																																											
交換機用	E <sub>L</sub>	10Ω以下																																																											
本配線盤の保安装置	E <sub>HL</sub>	10Ω以下																																																											
電話引込口・アンテナ保安器	E <sub>LT</sub>	100Ω以下																																																											
拡声用地幅器	E <sub>DL</sub>	100Ω以下																																																											
測定用	E <sub>0</sub>	—																																																											
26 構内交換設備工事範囲																																																													
27 構内情報通信網設備工事範囲																																																													
28 LANケーブルの種類・色																																																													
29 ガス漏れ警報装置検知器																																																													
30 監視カメラ設備工事範囲																																																													
31 防犯設備工事範囲																																																													
32 入退室管理設備工事範囲																																																													
㉑ 躯体貫通場所																																																													
24 発電機回路コンセント																																																													
35 マンホールハンドホール蓋																																																													
㉑ プルボックス																																																													
27 撤去後の補修																																																													
㉒ 屋外の支持金物																																																													

㉓ 建設副産物の処理について	資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。 また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係法律等によるほか建設副産物適正処理推進要綱に依り、指定された方法により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事手続に「建設副産物処理計画書」、工事終了時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。 有価物（スクラップ）については受注者責任の元、適切に処分を行うこと。処分を行った場合は、マニフェストと別に、有価物としての処分量が確認できる伝票等を添付すること。												
指定副産物（原則として、再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物												
がれき類 (コンクリート塊) (7スファルトコンクリート塊)	廃プラスチック ガラス・陶磁器くず 廃石こうボード												
木くず 建設発生土 汚泥	金属くず 繊維くず												
特別管理産業廃棄物													
・ 廃石綿等 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石棉飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課 「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」 環境省環境再生・資源循環局に依り、収集・運搬・処分を行うこと。													
・ 廃 PCB 等 「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に依り、報告書を作成し届出を行うこと。また廃 PCB については、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。													
※ 参考受入場所は、現場説明書による。 建設副産物の処理内容													
<table border="1"><thead><tr><th>処理内容</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>現場内における分別 現場内分別保管場所の設置 現場内分別保管場所までの運搬</td><td></td></tr><tr><td>分別保管場所からの積み込み・運搬・処分 「建設副産物の処理計画書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr><tr><td>「建設副産物の処理結果報告書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr><tr><td>「再生資源利用計画書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr><tr><td>「再生資源利用実施書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr></tbody></table>	処理内容	備考	現場内における分別 現場内分別保管場所の設置 現場内分別保管場所までの運搬		分別保管場所からの積み込み・運搬・処分 「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要	「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要	「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要	「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要	
処理内容	備考												
現場内における分別 現場内分別保管場所の設置 現場内分別保管場所までの運搬													
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分 「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要												
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要												
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要												
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要												
40 参考取付高さ	建築工事の手引き（電気設備工事編）による。 ・ 廃蛍光灯および廃水銀灯は、水銀使用製品産業廃棄物として処理すること。 ○ 停電を伴う工事は、施設管理者と事前協議を十分した上で実施すること。 ○ 施工の際は、分電盤対象回路を遮断すること。 ・ 建築足場等により、自動点検器が影に入る場合は、必要に応じて仮設措置を行うこと。 ・ 本工事は、週休2日促進工事である。（詳細は現場説明書による。） ・ 入札時積算数量書活用方式対象工事である。 ・ 余裕期間制度対象工事である。 ・ 情報共有システム対象工事である。 ・ 快適トイレ対象工事である。												
㉓ その他													

承認	工事名称 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事（アリーナ） （公財）福岡県建設技術情報センター 〒811-2416 福岡県糟屋郡築港町中 3丁目10-20 1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号 1 級建築士 第298560号 管理建築士 田中 希代 TEL. 092-947-2493 FAX 092-947-2504	図面名称 特記仕様書
	尺度	図面番号
	日付	E-01



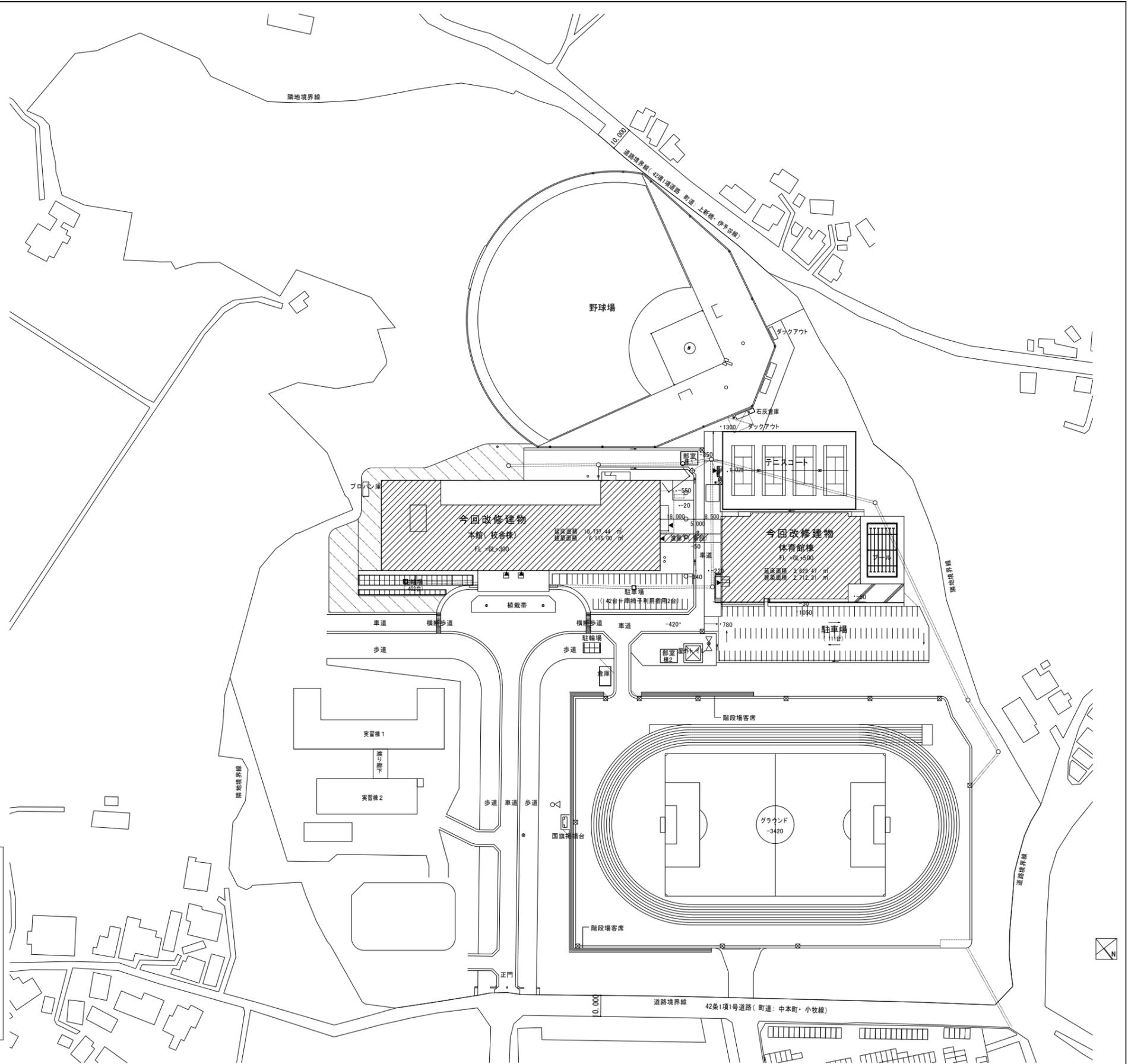
附近見取図

工事上の注意事項

1. 仮設施工計画書を提出後、監督員の承認を得ること。
2. 足場設置の可能な期間はR8.11月～R9.2月までとし、この期間内に機器類の設置ができるように、機器類の発注を行うこと。
3. 平日（月～金）の作業終了時間は、16:30までとすること。
4. 土日祝日における作業実施については、学校管理者との打ち合わせを要することとし、原則として土曜日の13時00分までは作業しない。
5. やむを得ず、上記2・3以外の期間や日時で工事を行う場合は、事前に学校管理者と協議し、承諾を得ること。
6. 工事車両は、登下校集中時（登校時間：7:30～8:30、下校時間16:00～17:00、スクールバス発車前18:00頃、19:15頃）は、避けて出入りを行うこと。
7. 工事車両と生徒との動線が重なる部分は安全対策を徹底し、大型車両の搬入・搬出時は交通誘導員が誘導し、事故防止に努めること。
8. 大型車両の通りにはカラーコーン等を設置して、安全対策を図り、事故防止に努めること。
9. 工事ヤードについては学校管理者と打合せを行うこと。
10. 側溝・土間等に重機が入る可能性がある部分は、鉄板敷等で養生すること。
11. 工事中やその他工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は、現況復旧すること。

凡例

今回改修建物



配置図 S=1/1000

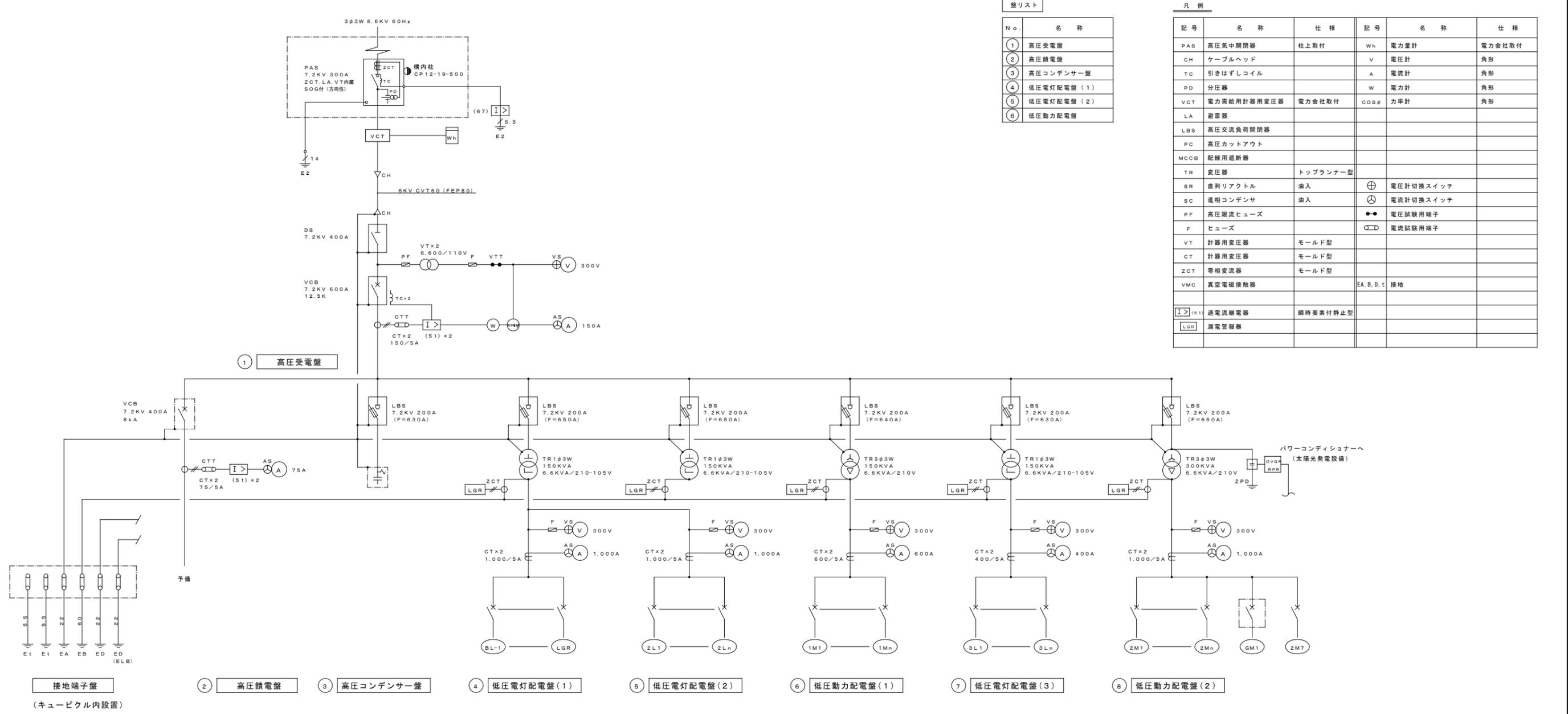
訂正	1	.	.	.
	2	.	.	.
	3	.	.	.
	4	.	.	.

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事（アリーナ）  
 図面名称  
附近見取図・配置図

縮尺  
A1 1/1000  
A3 1/2000

図面番号  
E-02



No.	名称
①	高圧受電盤
②	高圧饋電盤
③	高圧コンデンサー盤
④	低圧電灯配電盤 (1)
⑤	低圧電灯配電盤 (2)
⑥	低圧動力配電盤

記号	名称	仕様	記号	名称	仕様
PAS	高圧気中開閉器	柱上取付	Wh	電力量計	電力会社取付
CH	ケーブルヘッド		V	電圧計	角形
TC	引きはずしコイル		A	電流計	角形
PD	分圧器		W	電力計	角形
VCT	電力需給用計器用変圧器	電力会社取付	COSφ	力率計	角形
LA	避雷器				
LBS	高圧交流負荷開閉器				
PC	高圧カットアウト				
MCCB	配線用遮断器				
TR	変圧器	トッランナー型			
SR	直列リアクトル	油入	⊕	電圧計切換スイッチ	
SC	進相コンデンサ	油入	⊖	電流計切換スイッチ	
PF	高圧限流ヒューズ		●●	電圧試験用端子	
F	ヒューズ		□□	電流試験用端子	
VT	計器用変圧器	モールド型			
CT	計器用変圧器	モールド型			
ZCT	零相変流器	モールド型			
VMC	真空電磁接触器		EA, B, D, t	接地	
I>	過電流継電器	瞬時要素付静止型			
LGR	漏電警報器				

接地端子盤  
(キュービクル内設置)

- ② 高圧饋電盤
- ③ 高圧コンデンサー盤
- ④ 低圧電灯配電盤 (1)
- ⑤ 低圧電灯配電盤 (2)
- ⑥ 低圧動力配電盤 (1)
- ⑦ 低圧電灯配電盤 (3)
- ⑧ 低圧動力配電盤 (2)

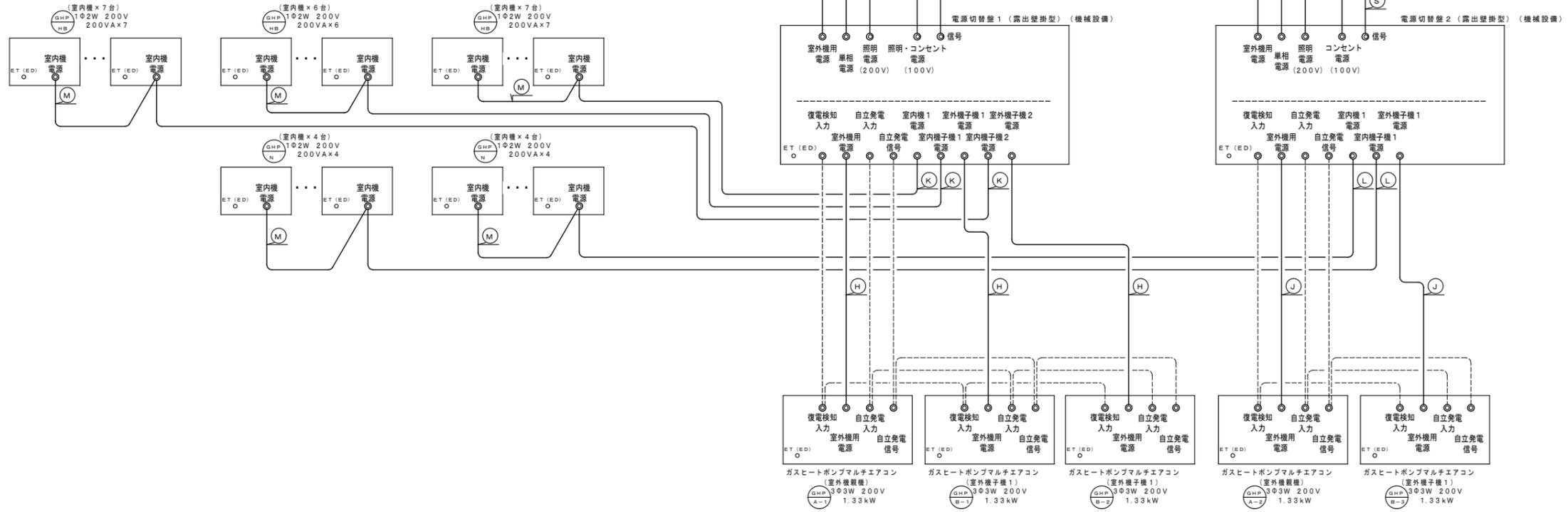
配電盤遮断機リスト

配電盤名称	幹線No.	負荷名称	遮断機容量 (MCCB)	負荷容量 (KVA)	幹線サイズ	備考
低圧電灯配電盤 (1)	1L1	BL-1	MCCB3P 50/50	4.28	CV8-3C	
	1L2	発電機	MCCB2P100/100	10.00	CV38-2C	
	1L1	UPS	MCCB2P 50/30	3.00	CV14-2C	
	1L1	1L-1	MCCB3P225/200	40.25	CVT150	
	1L1	1L-2	MCCB3P600/500	97.97	CVT150x2	
	1L1	1ML-1	MCCB3P225/125	25.30	CVT100	
	1L1	1ML-2	MCCB3P100/100	17.30	CVT38	
	1L1	盤内電源	MCCB2P 50/20	—	—	
	1L1	LGR電源	MCCB2P 50/20	—	—	
			計		198.00	
低圧電灯配電盤 (2)	2L1	2L-1	MCCB3P225/200	41.58	CVT150	
	2L2	2L-2	MCCB2P400/300	62.53	CVT150	
	2L3	2ML-1	MCCB3P225/125	25.30	CVT100	
	2L4	2ML-2	MCCB3P225/225	42.40	CVT100	
	2L5	1TV	MCCB3P 50/50	—	CVT14	
	L1G	L-1G	MCCB3P100/100	—	CVT38	
		計		171.81		

配電盤名称	幹線No.	負荷名称	遮断機容量 (MCCB)	負荷容量 (KVA)	幹線サイズ	備考
低圧動力配電盤 (1)	1M1	BM-1	MCCB3P 50/40	6.00	CV8-3C	
	1M2	2M-1	MCCB3P400/250	46.40	CVT100	
	1M3	2M-1	MCCB3P225/200	36.80	CVT100	
	1M4	2M-2	MCCB3P400/250	44.60	CVT60	
	1M5	消火ポンプ制御盤(1)	MCCB3P 50/50	7.50	FP8-3C	
	1M6	消火ポンプ制御盤(2)	MCCB3P100/100	15.00	FP22-3C	
	1M7	1ML-1	MCCB3P 50/75	7.80	CV14-3C	
	1M8	1ML-2	MCCB3P100/75	11.80	CV8-3C	
	1M9	2ML-1	MCCB3P 50/50	7.80	CV14-3C	
	1M10	2ML-2	MCCB3P 50/40	5.00	CV5.5-3C	
	1M11	防球ネット	MCCB3P100/100	—	CVT60	
		計		188.70		

配電盤名称	幹線No.	負荷名称	遮断機容量 (MCCB)	負荷容量 (KW)	幹線サイズ	備考
低圧電灯配電盤 (3)	3L1	1L-体育館	MCCB3P225/200	35.71	CVT150	
	3L2	2L-体育館	MCCB3P225/125	21.35	CVT100	
	3L3	予備	MCCB3P225/150	—	—	
	3L4	実習棟電源	MCCB3P100/100	—	CVT60	
		計		57.06		
低圧動力配電盤 (2)	2M1	2M-1	MCCB3P400/400	69.40	CVT150	
	2M2	2M-2	MCCB3P400/350	63.43	CVT100	
	2M3	2M-2	MCCB3P225/225	43.30	CVT60	
	2M4	E.V.制御盤	MCCB3P 50/40	4.20	CV5.5-3C	
	2M5	ろ過機制御盤	MCCB3P 50/50	5.50	CVT14	
	2M6	給水ポンプ制御盤	MCCB3P100/100	7.40	CVT38	
	2M7	太陽光発電	MCCB3P400/250	50.00	CVT150	
	2M8	予備	MCCB3P225/150	—	—	
	2M9	実習棟電源	MCCB3P100/100	—	CVT60	
	2M10	S-A	MCCB3P50/50	6.65	CET38	今回開閉器追加
GM1	消火ポンプユニット	MCCB3P100/75	5.50	FPT14		
GM2	予備	MCCB3P 50/20	—	—		
		計		255.38		

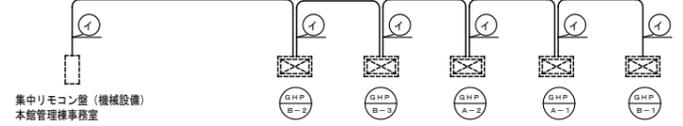
記号	配線サイズ	備考
A	EM-CET38sq, E3. 5sq×2	受変電からS-A: 3φ3W 200V
B	EM-CET22sq, E5. 5sq×2	体育館1階既設分電盤からL-A: 1φ3W 200V
C	EM-CE5. 5sq-2C×4	体育館内照明・コンセント負荷
D	EM-CE5. 5sq-3C, E3. 5sq	S-Aから電源切替盤1・2: 3φ3W 200V
E	EM-CET14sq, E3. 5sq	L-Aから電源切替盤1・2: 1φ3W 200V
F	EM-CE5. 5sq-2C	電源切替盤1・2からL-A: 1φ2W 200V
G	EM-CE5. 5sq-2C	電源切替盤1・2からL-A: 1φ2W 100V
H	EM-CET14sq, E3. 5sq	電源切替盤1から室外機: 3φ3W 200V
J	EM-CET14sq, E3. 5sq	電源切替盤2から室外機: 3φ3W 200V
K	EM-CE5. 5sq-3C (1CE)	電源切替盤1から室内機: 1φ2W 200V
L	EM-CE5. 5sq-3C (1CE)	電源切替盤2から室内機: 1φ2W 200V
M	EM-EEF2. 0-3C (1CE)	室内機用: 1φ2W 200V
S	EM-CEE2. 0-2C	電源切替盤1・2からL-A: 信号
I	EM-FCPEE 1. 2-1P	集中リモコン



盤名称	空調整
S-A	新設
盤仕様	
1. 材質	: 屋内露出壁掛型 鋼板製 (焼付塗装仕様)
2. 扉	: 扉は中板付とする。
3. 塗装色	: 2. 5Y 9/1
4. 盤	: No. 200
5. 遮断器	: 室外機送り漏電遮断器は、雷サージ電流・高周波 (インバーター) 対応品を採用の事。

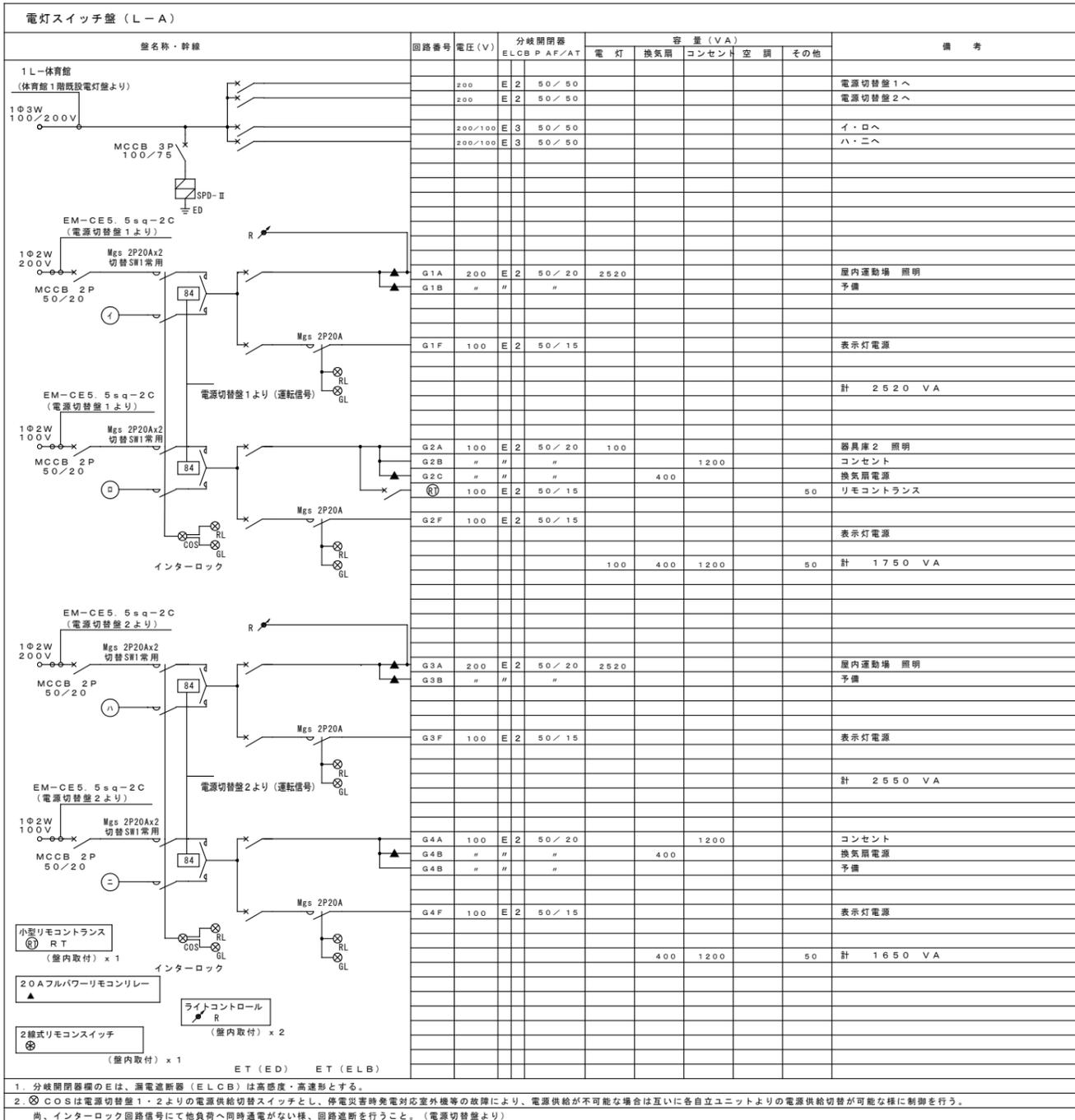
盤名称・幹線	記号	機器名称	容量 (kW)	分岐用漏電遮断器	配線サイズ	室外機接続部の配管サイズ	配管サイズ
EM-CET38sq							
3φ3W 200V 受変電より ET (ED) ET (ELB)							
	GHPA-1・B-1・B-2	電源切替盤1 (ガスヒートポンプエアコン機)	3.99	ELCB 3P 50AF/30AT	EM-CE5. 5"-3C, E3. 5sq		(E25)
	GHPA-2・B-3	電源切替盤2 (ガスヒートポンプエアコン機)	2.66	ELCB 3P 50AF/30AT	EM-CE5. 5"-3C, E3. 5sq		(E25)

記号	配線サイズ	備考
I	EM-FCPEE 1. 2-1P	集中リモコン用

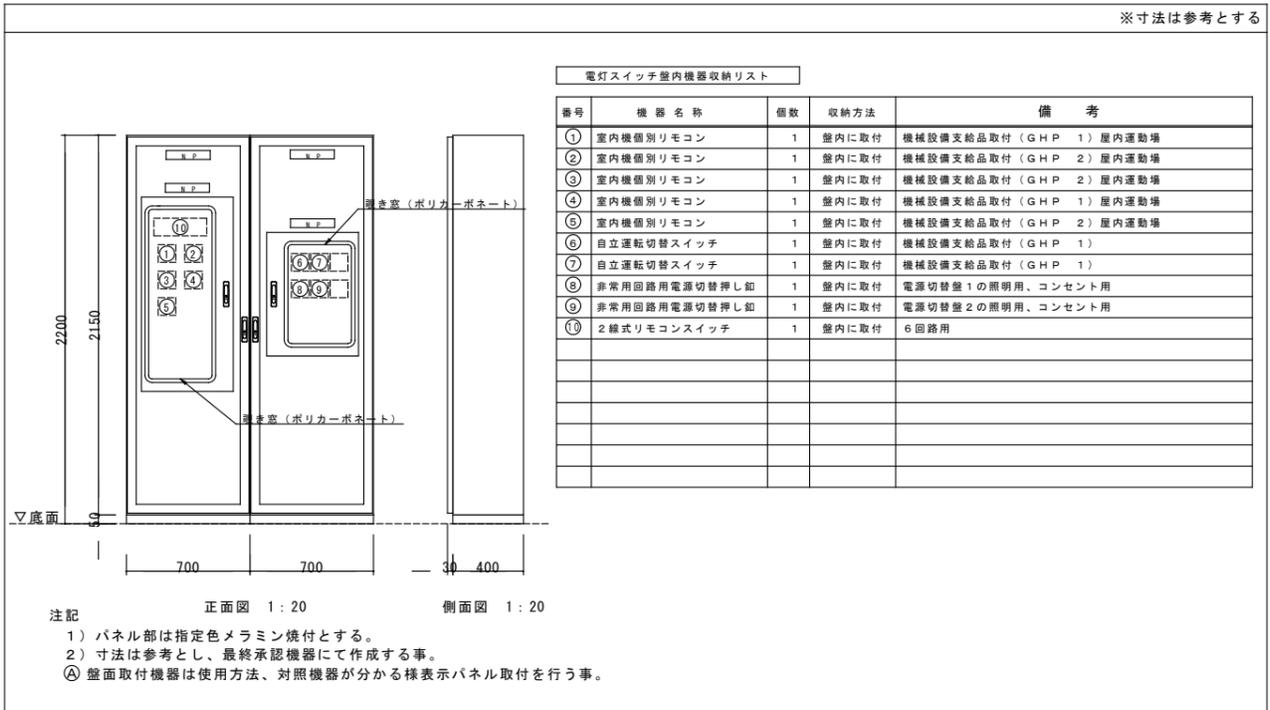


盤名称	電灯スイッチ盤
盤仕様	
1.材質	：屋内露出自立型 (H=2,200)・鋼板製 (焼付塗装仕上) を取付とし、盤内側面に配線スペースを取付
2.扉	：扉は中板付とする
3.塗装色	：2.5Y 9/1
4.盤	：No. 200

L-A  
新設



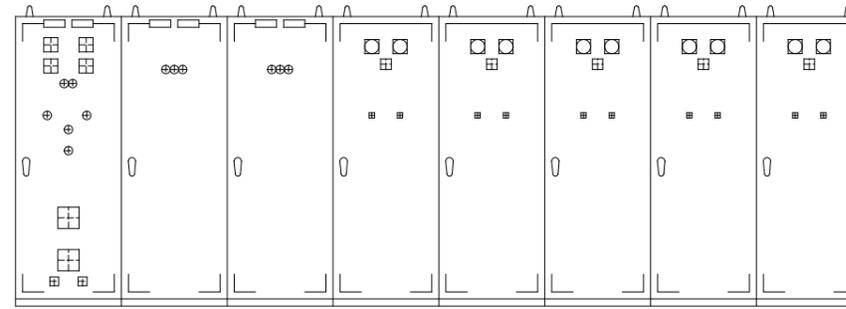
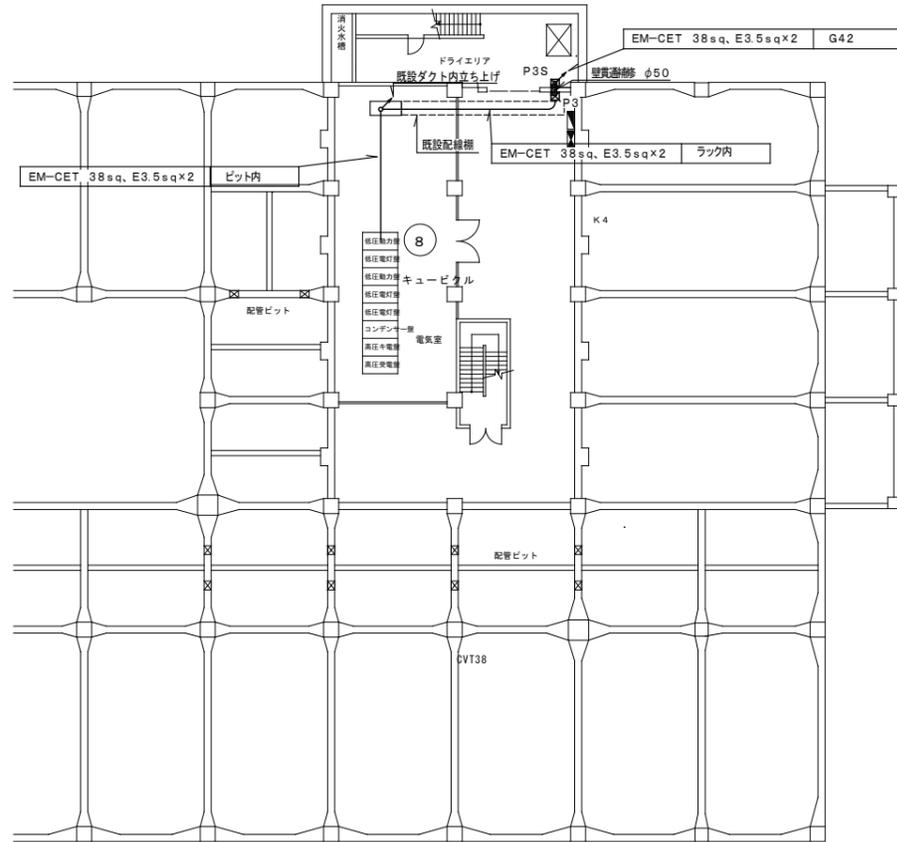
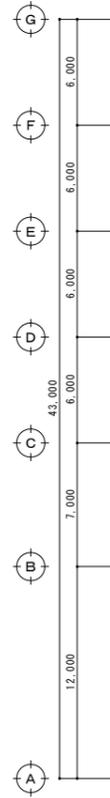
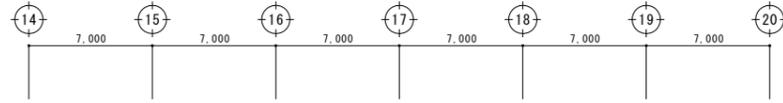
※寸法は参考とする



※電灯スイッチ盤の機能について

- 自立運転型空調機の起動は自動運転として、全て電灯スイッチ盤の個別リモコンスイッチで個別に操作できること。
- 操作盤に設けた、切替スイッチ1~2を操作することにより、非常用電源でもある自立運転型空調機GHP1~2を選択できること。  
スイッチを切り替えることによって、例えば非常用照明回路へ電源を供給するGHP-1が故障した場合でも、GHP-1以外の機器から電力が供給できること。
- 非常用回路については、自立運転型空調機を起動した後で盤内のスイッチ⑧⑨を操作して使用できること。





高圧キュービクル姿図 (参考図)

幹線設備 校舎棟B 1階平面図 S=1:200

フルボックスサイズ

P1	100×100×100	鋼板製フルボックス
P2	200×200×200	鋼板製フルボックス
P3	300×300×300	鋼板製フルボックス
P5	500×500×500	鋼板製フルボックス
P2S	200×200×200	ステンレス製フルボックス
P3S	300×300×300	ステンレス製フルボックス
P5S	500×500×500	ステンレス製フルボックス

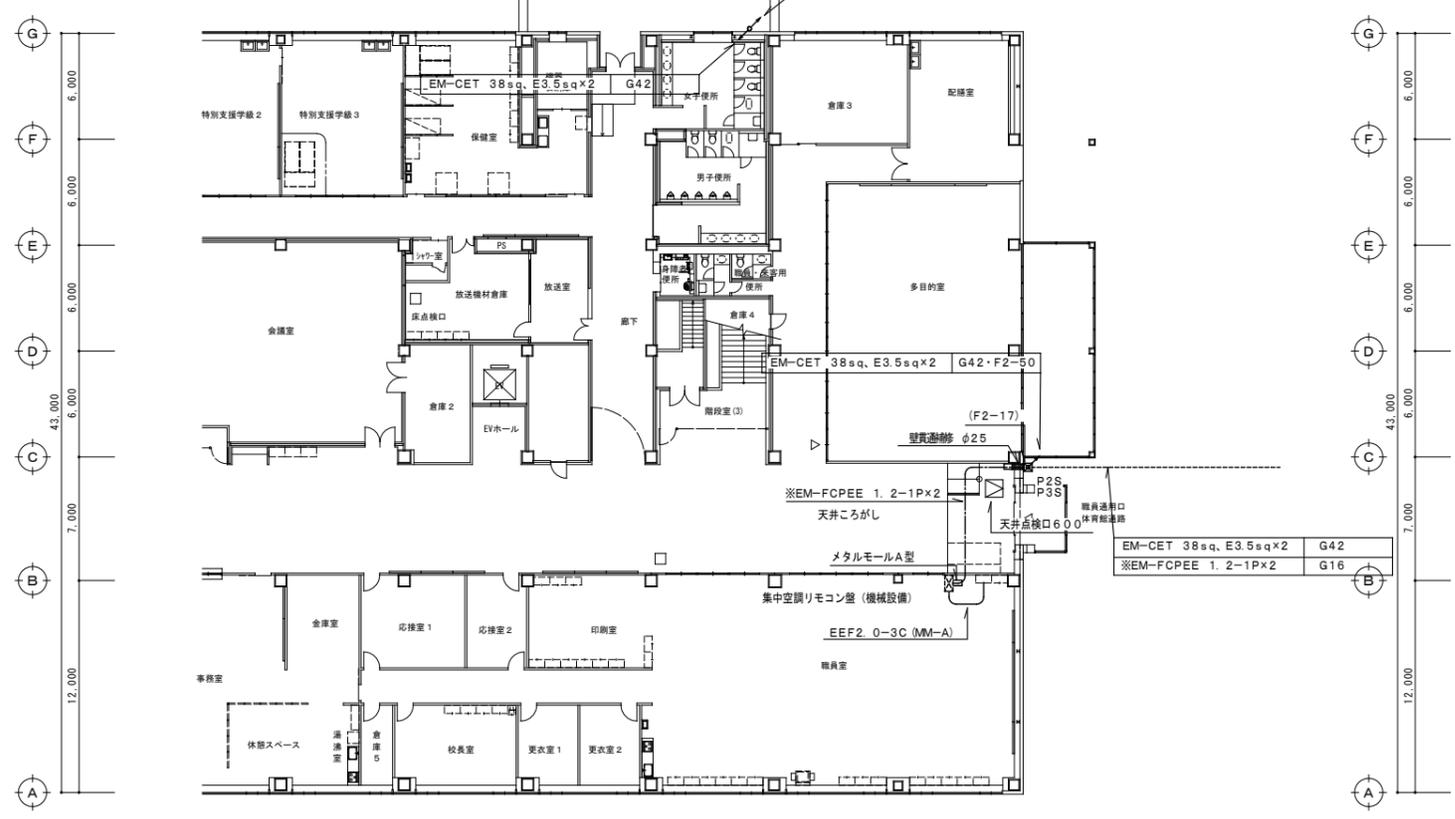
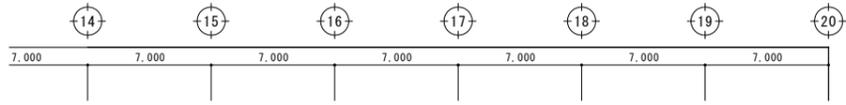
訂正	1	
	2	
	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校校舎棟空調設備新設工事 (アリーナ)  
 図面名称  
 幹線設備 校舎棟B 1階平面図

縮尺  
 A3 1:400  
 A1 1:200

図面番号  
 E-07

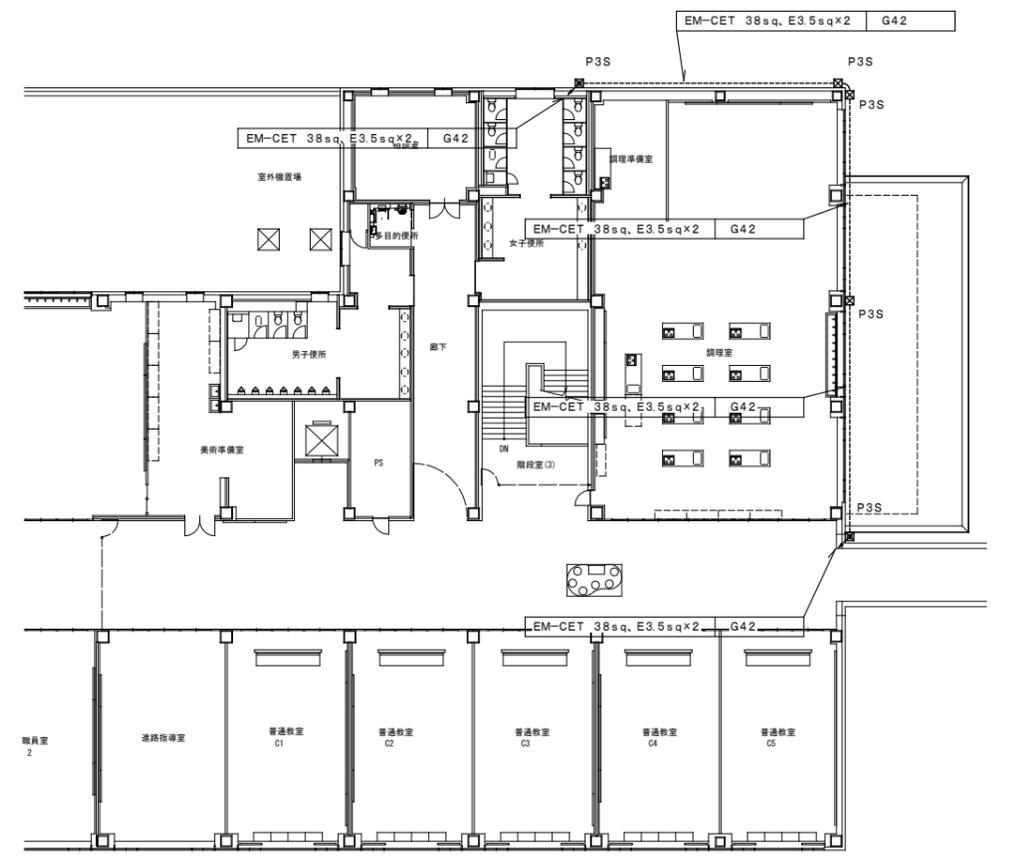
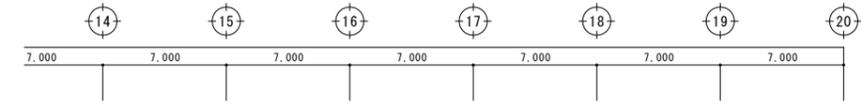


幹線設備 校舎棟1階平面図 S=1:200

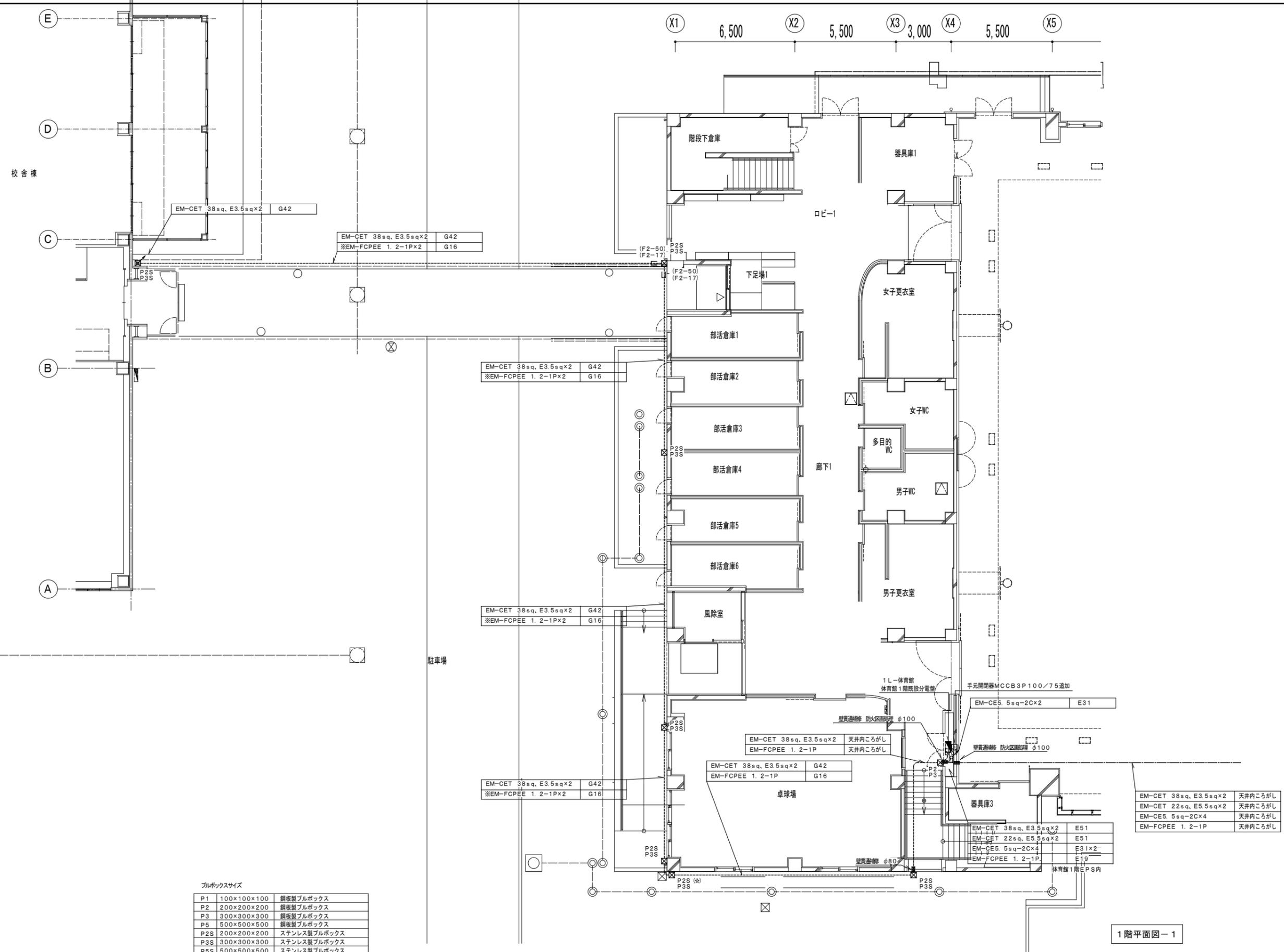
ブルボックスサイズ

P1	100×100×100	銅板製ブルボックス
P2	200×200×200	銅板製ブルボックス
P3	300×300×300	銅板製ブルボックス
P5	500×500×500	銅板製ブルボックス
P2S	200×200×200	ステンレス製ブルボックス
P3S	300×300×300	ステンレス製ブルボックス
P5S	500×500×500	ステンレス製ブルボックス

注記: ※EM-FCPEE 1.2-1P×2 (1架棟採用)



幹線設備 校舎棟2階平面図 S=1:200



フルボックスサイズ

P1	100×100×100	鋼板製フルボックス
P2	200×200×200	鋼板製フルボックス
P3	300×300×300	鋼板製フルボックス
P5	500×500×500	鋼板製フルボックス
P2S	200×200×200	ステンレス製フルボックス
P3S	300×300×300	ステンレス製フルボックス
P5S	500×500×500	ステンレス製フルボックス

注記: ※EM-FCPEE 1.2-1Px2 (1製は採用)  
 PS2(☆)EM-FCPEE 1.2-1Px2採用はボックス内で養生する。

1階平面図-1

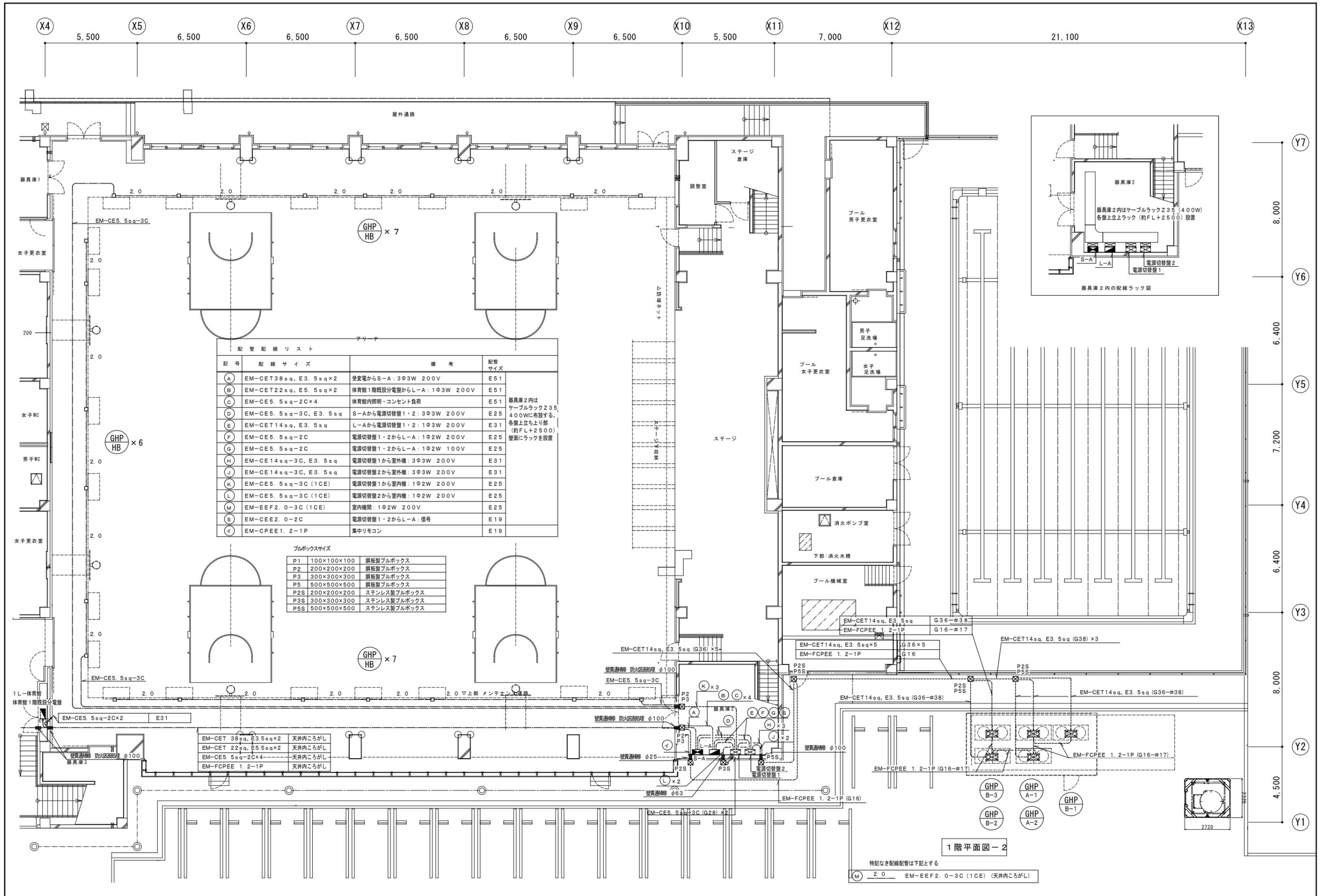
訂	1	
正	2	
	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事 (アリーナ)  
 図面名称  
 空調設備 体育館1階平面図-1

縮尺  
 A3 1/200  
 A1 1/100

図面番号  
 E-09



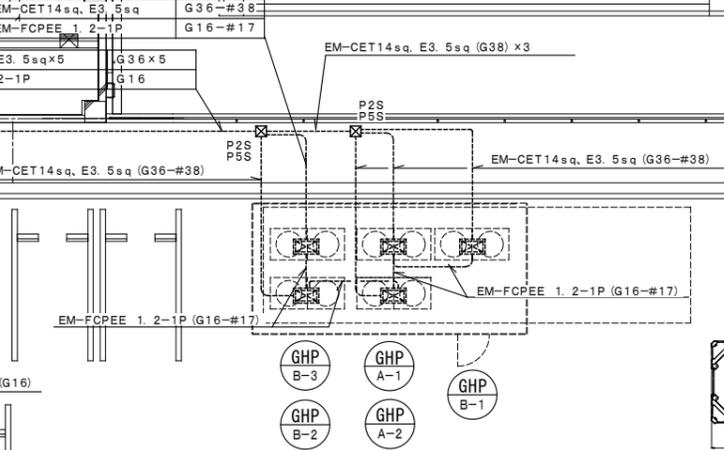
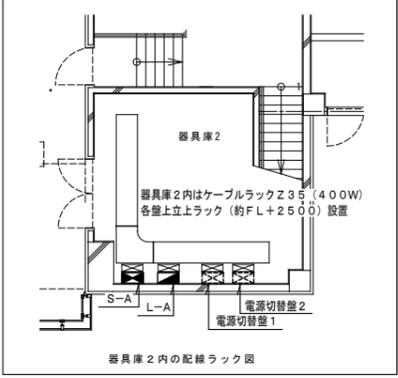
配管配線リスト

記号	配線サイズ	備考	配管サイズ
(A)	EM-CET38sq, E3. 5sq×2	受電電からS-A: 3Φ3W 200V	E51
(B)	EM-CET22sq, E5. 5sq×2	体育館1階既設分電盤からL-A: 1Φ3W 200V	E51
(C)	EM-CE5. 5sq-2C×4	体育館内照明・コンセント負荷	E51
(D)	EM-CE5. 5sq-3C, E3. 5sq	S-Aから電源切替盤1・2: 3Φ3W 200V	E25
(E)	EM-CET14sq, E3. 5sq	L-Aから電源切替盤1・2: 1Φ3W 200V	E31
(F)	EM-CE5. 5sq-2C	電源切替盤1・2からL-A: 1Φ2W 200V	E25
(G)	EM-CE5. 5sq-2C	電源切替盤1・2からL-A: 1Φ2W 100V	E25
(H)	EM-CE14sq-3C, E3. 5sq	電源切替盤1から室外機: 3Φ3W 200V	E31
(J)	EM-CE14sq-3C, E3. 5sq	電源切替盤2から室外機: 3Φ3W 200V	E31
(K)	EM-CE5. 5sq-3C (1CE)	電源切替盤1から室内機: 1Φ2W 200V	E25
(L)	EM-CE5. 5sq-3C (1CE)	電源切替盤2から室内機: 1Φ2W 200V	E25
(M)	EM-EEF2. 0-3C (1CE)	室内機間: 1Φ2W 200V	E25
(S)	EM-CEE2. 0-2C	電源切替盤1・2からL-A: 信号	E19
(Y)	EM-CPEE1. 2-1P	集中リモコン	E19

ブルボックスサイズ

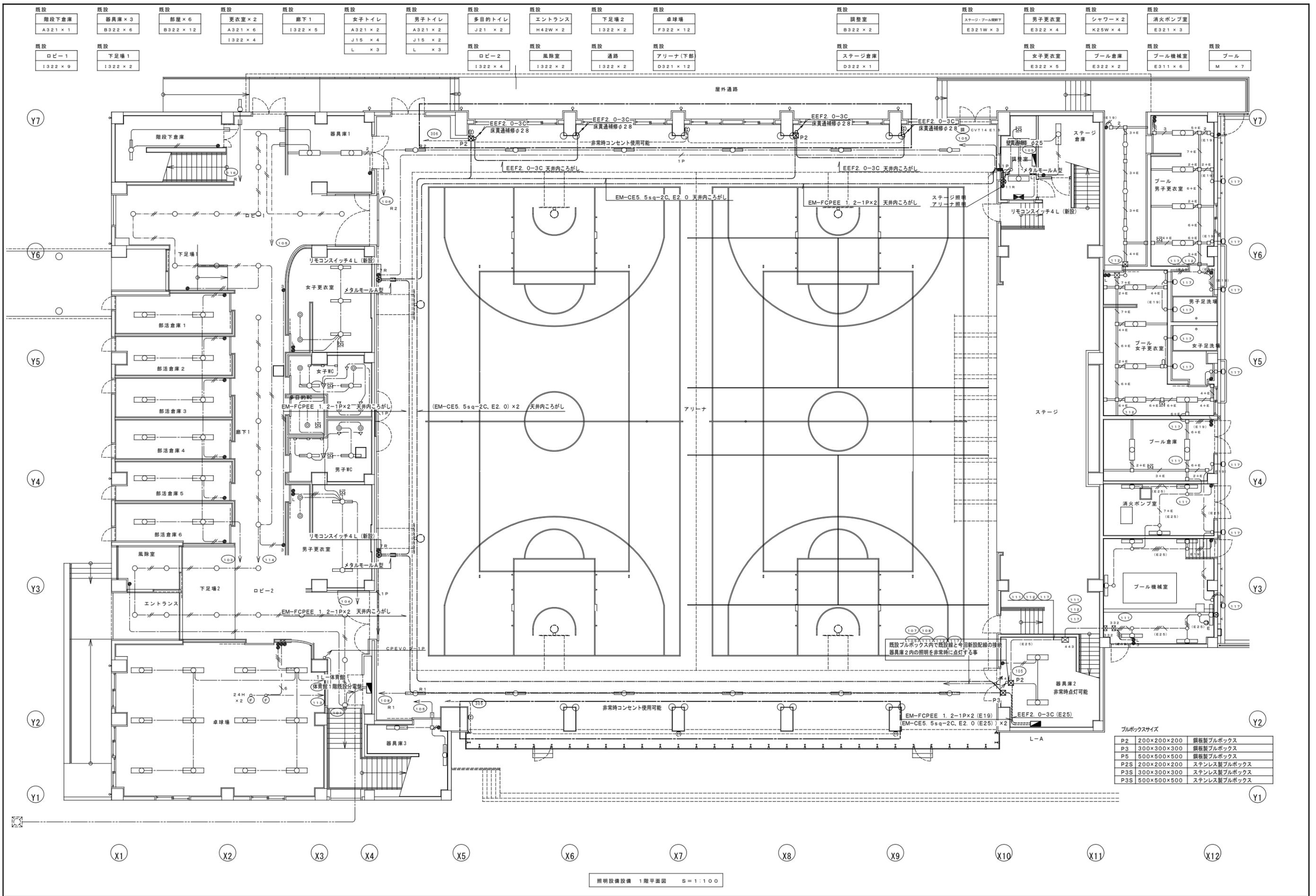
P1	100×100×100	銅板製ブルボックス
P2	200×200×200	銅板製ブルボックス
P3	300×300×300	銅板製ブルボックス
P5	500×500×500	銅板製ブルボックス
P2S	200×200×200	ステンレス製ブルボックス
P3S	300×300×300	ステンレス製ブルボックス
P5S	500×500×500	ステンレス製ブルボックス

EM-CET 38sq, E3. 5sq×2	天井内ごろがし
EM-CET 22sq, E5. 5sq×2	天井内ごろがし
EM-CE5. 5sq-2C×4	天井内ごろがし
EM-FCPEE 1. 2-1P	天井内ごろがし



1階平面図-2  
 特記なき配管配線は下記とする  
 (M) 2.0 EM-EEF2. 0-3C (1CE) (天井内ごろがし)

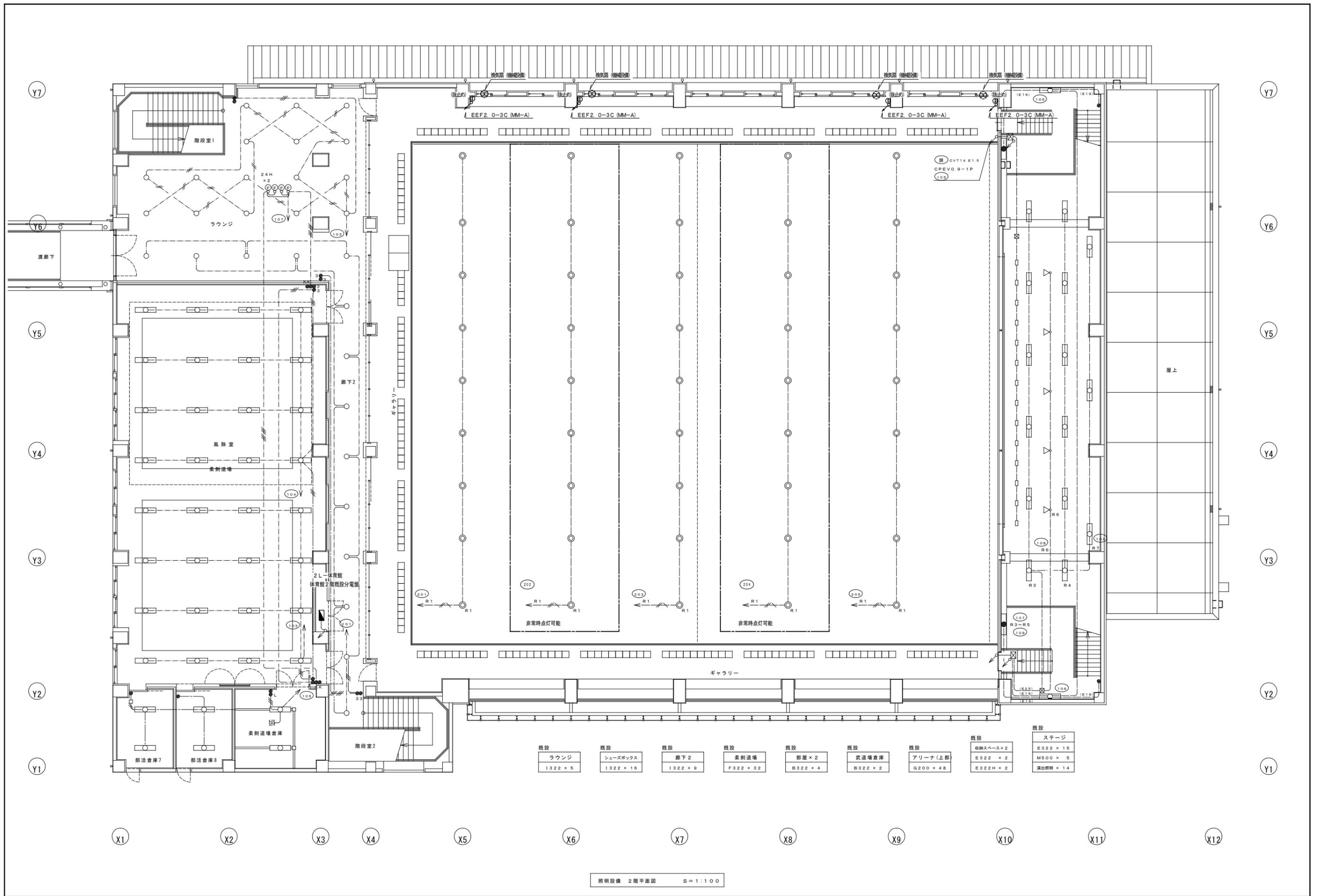




フルボックスサイズ

P2	200×200×200	鋼板製フルボックス
P3	300×300×300	鋼板製フルボックス
P5	500×500×500	鋼板製フルボックス
P2S	200×200×200	ステンレス製フルボックス
P3S	300×300×300	ステンレス製フルボックス
P5S	500×500×500	ステンレス製フルボックス

照明設備設備 1階平面図 S=1:100



既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設
ラウンジ	シューズボックス	廊下2	柔剣道場	部屋×2	武道場倉庫	アリーナ(上部)	収納スペース×2	ステージ	
1322 × 5	1322 × 16	1322 × 9	F322 × 32	B322 × 4	B322 × 2	G200 × 48	E322 × 2	E322 × 15	
							E322 × 2	M500 × 5	
							E322H × 2	演出照明 × 14	

照明設備 2階平面図 S=1:100



No. 2 令和6年度改訂 (R6.6)

Table with 2 columns: Item (7. とい, 8. アルミニウム製壁木, 9. 施工, 10. 保証年限, 11. その他の防水) and Content (Material specifications, waterproofing methods, and maintenance details).

Table with 2 columns: Item (4. 欠損部改修方法, 5. 浮き部改修方法) and Content (Repair methods for damaged and floating parts, including material specifications and procedures).

Table with 2 columns: Item (4. 1. 施工調査数量, 2. 調査のための破壊部分の補修, 3. ひび割れ部改修方法) and Content (Inspection procedures, repair methods for damaged parts, and crack repair techniques).

Table with 2 columns: Item (4. 1. 施工調査数量, 2. 調査のための破壊部分の補修, 3. ひび割れ部改修方法) and Content (Inspection procedures, repair methods for damaged parts, and crack repair techniques).

Table with 2 columns: Item (4. 欠損部改修方法) and Content (Repair methods for damaged parts, including U-cutting and filling techniques).

Table with 2 columns: Item (4. 欠損部改修方法) and Content (Repair methods for damaged parts, including U-cutting and filling techniques).

Table with 2 columns: Item (4. 1. 施工調査数量, 2. 調査のための破壊部分の補修, 3. ひび割れ部改修方法) and Content (Inspection procedures, repair methods for damaged parts, and crack repair techniques).

Table with 2 columns: Item (4. 1. 施工調査数量, 2. 調査のための破壊部分の補修, 3. ひび割れ部改修方法) and Content (Inspection procedures, repair methods for damaged parts, and crack repair techniques).

Table with 2 columns: Item (4. 欠損部改修方法) and Content (Repair methods for damaged parts, including tile replacement and repair).

Table with 2 columns: Item (5. 浮き部改修方法) and Content (Repair methods for floating parts, including grouting and leveling).

Table with 2 columns: Item (6. 目地改修方法) and Content (Repair methods for joints, including grouting and sealing).

Table with 2 columns: Item (4. 1. 施工調査数量, 2. 調査のための破壊部分の補修, 3. ひび割れ部改修方法) and Content (Inspection procedures, repair methods for damaged parts, and crack repair techniques).

Table with 2 columns: Item (4. ④ 仕上塗材仕上げ) and Content (Specifications for finishing coatings, including material types and application methods).

Table with 2 columns: Item (5. 1. 改修方法) and Content (Repair methods, including material specifications and construction details).

Table with 2 columns: Item (5. 2. アルミニウム製建具) and Content (Specifications for aluminum fixtures, including material types and performance requirements).

Table with 2 columns: Item (5. 3. 鋼製建具) and Content (Specifications for steel fixtures, including material types and performance requirements).

No. 3 令和6年度改訂 (R6.6)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 11. 重量シャッター, 12. 軽量シャッター, 13. オーバーヘッドドア, 14. ガラス, 6. 既存床の撤去並びに下地補修, 2. 接着剤, 3. ビニル床シート張り, 4. ビニル床タイル張り, 5. ビニル幅木, 6. カーペット敷き, 7. 合成樹脂塗床, 8. フローリング張り, 9. 体育館用フローリング張り, 10. 畳敷き.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include ①. セッコウボードその他ボード及び合板張り, 12. 壁紙張り, 13. タイル張り, 14. 断熱材, 15. 吸音材, 16. ポリスチレンフォーム床下地材, ②. ステンレスの表面仕上げ, 2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理, 3. 鉄鋼の垂鉛メッキ, ④. 軽量鉄骨天井地下, 5. 軽量鉄骨壁下地.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 6. 金属成形板張り, 1. フリーアクセスフロア, 2. 可動間仕切(既製間仕切), 3. 移動間仕切(スライディングドア), 4. トイレブース, 5. 手すり, 6. 階段滑り止め, 階段手すり, 7. 床目地棒, 8. 黒板及びホワイトボード, 9. 鏡, 10. 表示, 11. タラップ, 12. 煙突ライニング, 13. ブラインド, 14. ロールスクリーン.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include ③. 内装改修工事, 15. カーテン及びカーテンレール, 16. ブラインドボックス及びカーテンボックス, 17. コーナービード, 18. 天井見切縁, 19. 点検口及びびその他工事, 20. くつふきマット, 21. 鋼製書架及び物品棚, 22. 旗ざお, 23. 旗ざお受金物, 24. 流し台ユニット, 25. 視覚障害者用誘導床材, ②. 既製フェンス, 27. かぎ箱, 28. 敷地境界線, 29. 屋外掲示板, ④. 車止め支柱, 31. 新聞受・郵便受, 32. 木製家具, 33. 収納・収納家具, ④. 施工中の安全管理, ⑦. ①. 材料, ②. 塗装業者, ③. 下地調整.

Project information section including: 工事名称 (改修工事特記仕様書(3)), 図面名称 (改修工事特記仕様書(3)), 尺度 (A-03), 日付, and contact information for the center.





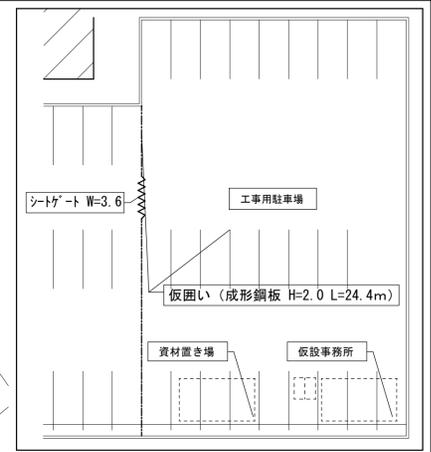
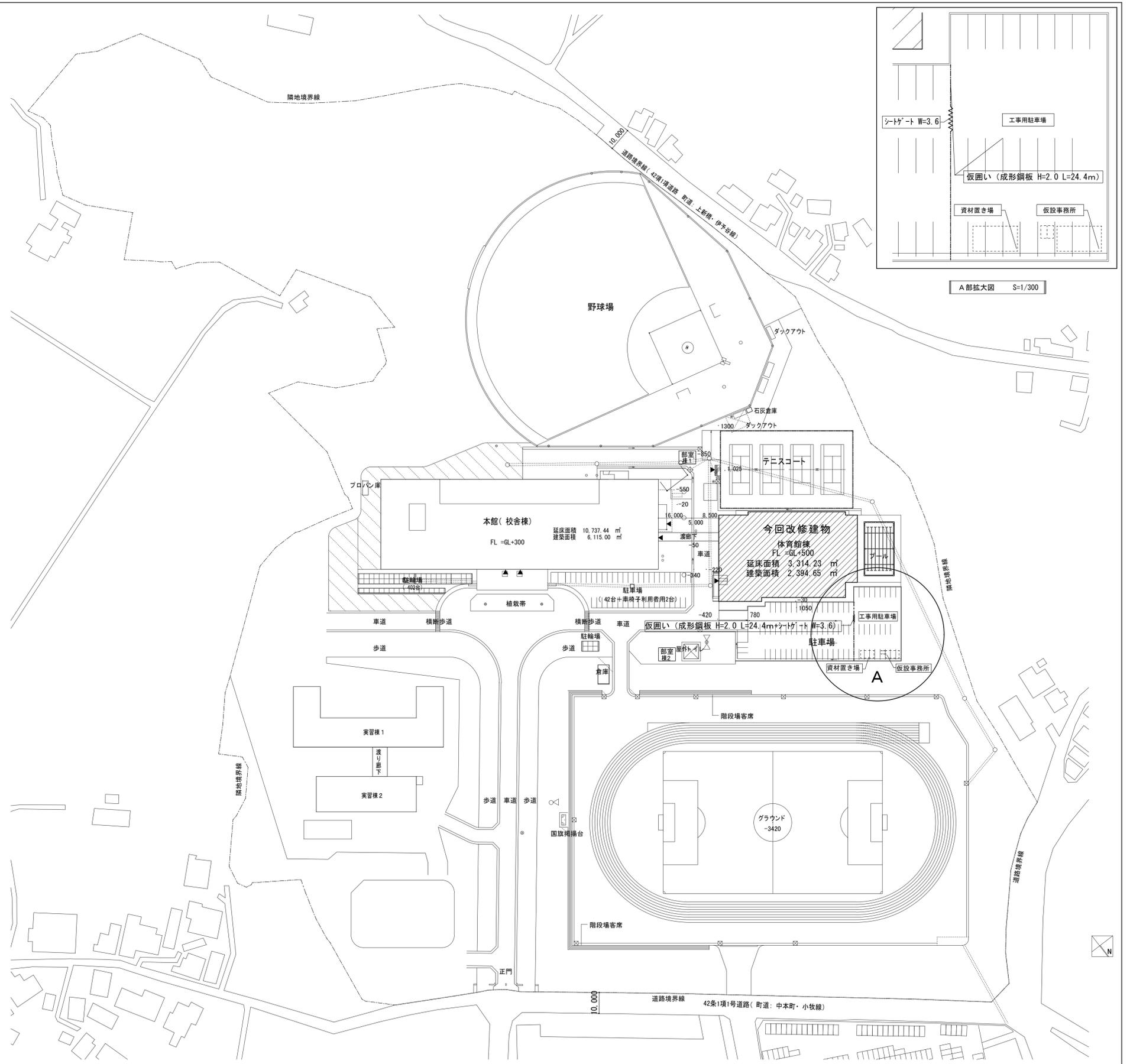
附近見取図

工事上の注意事項

1. 仮設施工計画書を提出後、監督員の承認を得ること。
2. 足場設置の可能な期間はR8.11月～R9.2月までとし、この期間内に機器類の設置ができるように、機器類の発注を行うこと。
3. 平日（月～金）の作業終了時間は、16:30までとすること。
4. 土日祝日における作業実施については、学校管理者との打ち合わせを要することとし、原則として土曜日の13時00分までは作業しない。
5. やむを得ず、上記2・3以外の期間や日時で工事を行う場合は、事前に学校管理者と協議し、承諾を得ること。
6. 工事車両は、登下校集中時（登校時間：7:30～8:30、下校時間16:00～17:00、スクールバス発車前18:00頃、19:15頃）は、避けて出入りを行うこと。
7. 工事車両と生徒との動線が重なる部分は安全対策を徹底し、大型車両の搬入・搬出時は交通誘導員が誘導し、事故防止に努めること。
8. 大型車両の廻りはカラーコーン等を設置して、安全対策を回り、事故防止に努めること。
9. 工事ヤードについては学校管理者と打合せを行うこと。
10. 側溝・土間等に重機が入る可能性がある部分は、鉄板敷等で養生すること。
11. 工事中やその他工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は、現況復旧すること。

凡 例

今回改修建物



A部拡大図 S=1/300

配置図 S=1/1000

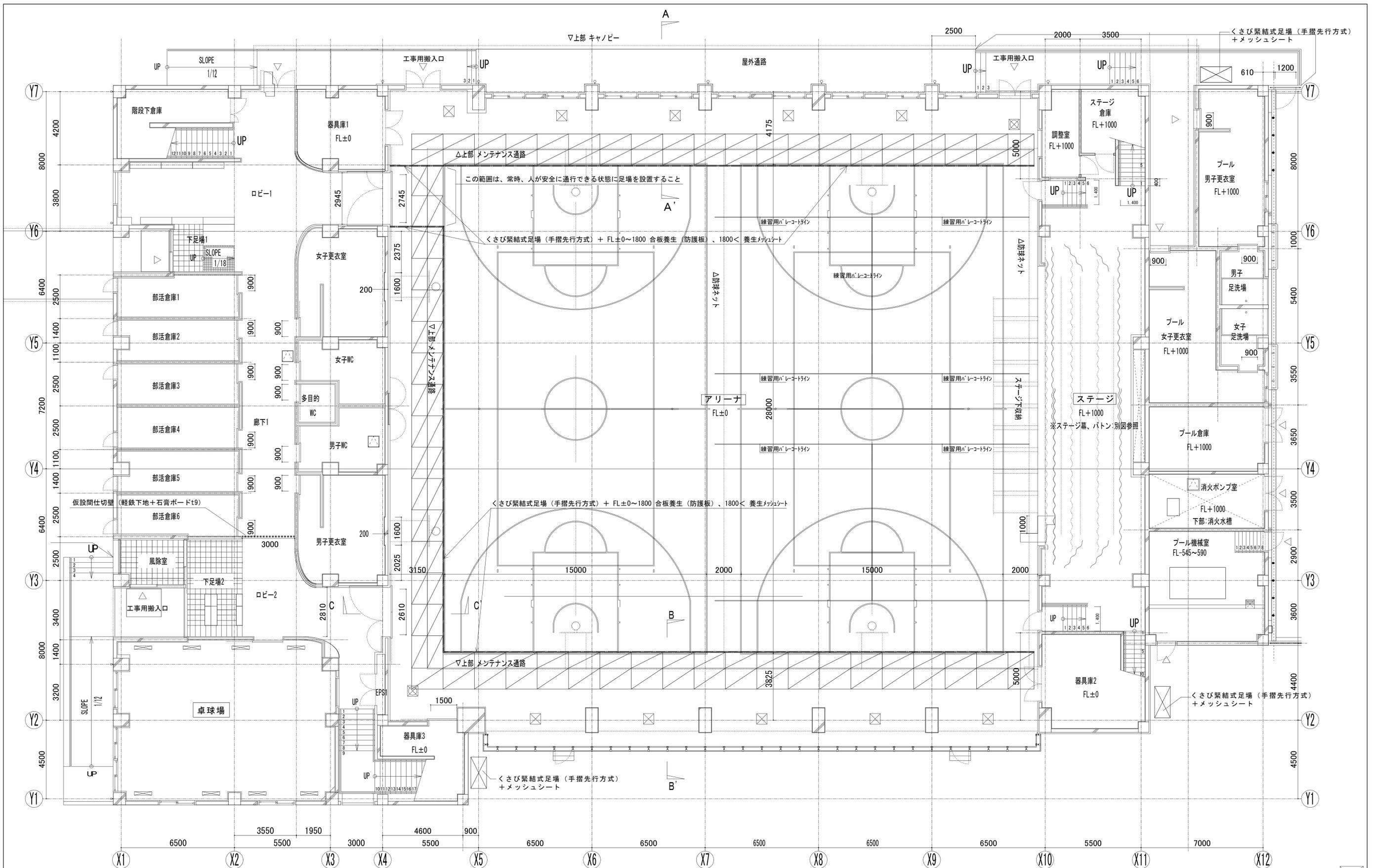
訂	1	
	2	
	3	
	4	
正	1	
	2	
	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事（アリーナ）  
 図面名称  
 附近見取図、配置図兼仮設計画図

縮尺  
 A3 1/2000  
 A1 1/1000

図面番号  
 A-05



**凡例**

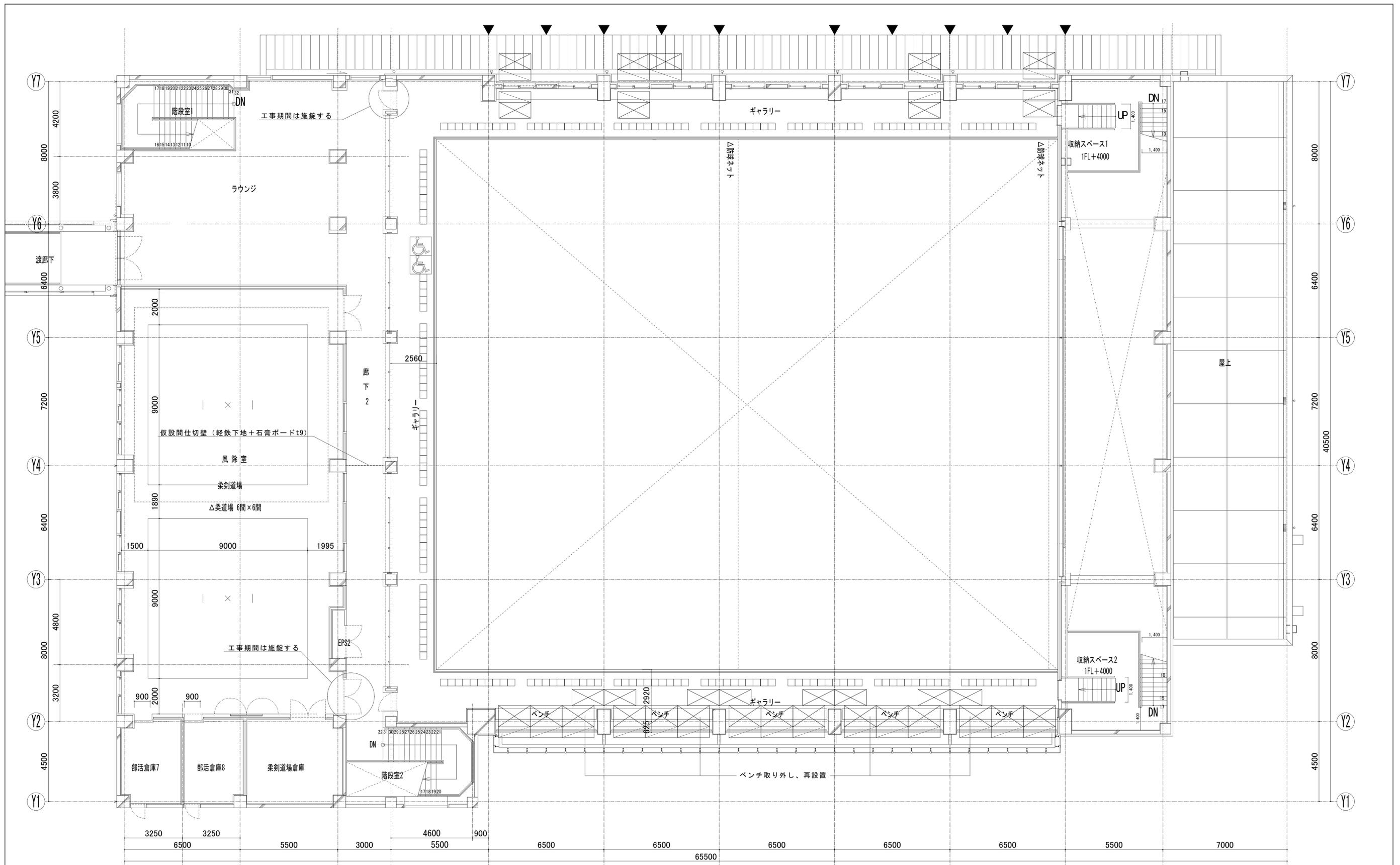
くさび緊結式足場 (手摺先行方式) +メッシュシート  
 内部枠組仕上足場

**仮設概要**

- ・本計画は参考とし、仮設計画・工事は施設側と十分打合せのうえ、施工者の責任にて安全対策を行うこと。
- ・アリーナ部分の床養生は、足場設置前にブルーシート敷きのうえ、合板t=12敷とし、ジャッキベース下は道板敷きとする。
- ・ギャラリー部分の床養生は、足場設置前にブルーシート敷きのうえにベニヤ等で養生を行い、ジャッキベース下は道板敷きとする。
- ・搬入経路の床養生は、床養生シートで養生を行うこと。
- ・施設利用者出入口を工事業者が利用する場合は、施設管理者の了承を得た上、安全対策や養生を考慮すること。

※ 1FL=GL+550

訂 正	1		(公財) 福岡県建設技術情報センター 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504	工事名称 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ) 図面名称 1階仮設計画図(参考図)	縮尺 A3 1/200 A1 1/100	図面番号 A-06
	2					
	3					
	4					



凡例

- ▼ 足場設置補強用パイプサポート設置位置
- ⊠ くさび緊結式足場 (手摺先行方式) +メッシュシート
- ⊠ くさび緊結式足場 (手摺先行方式) +最上部ブラケット持ち出し +メッシュシート

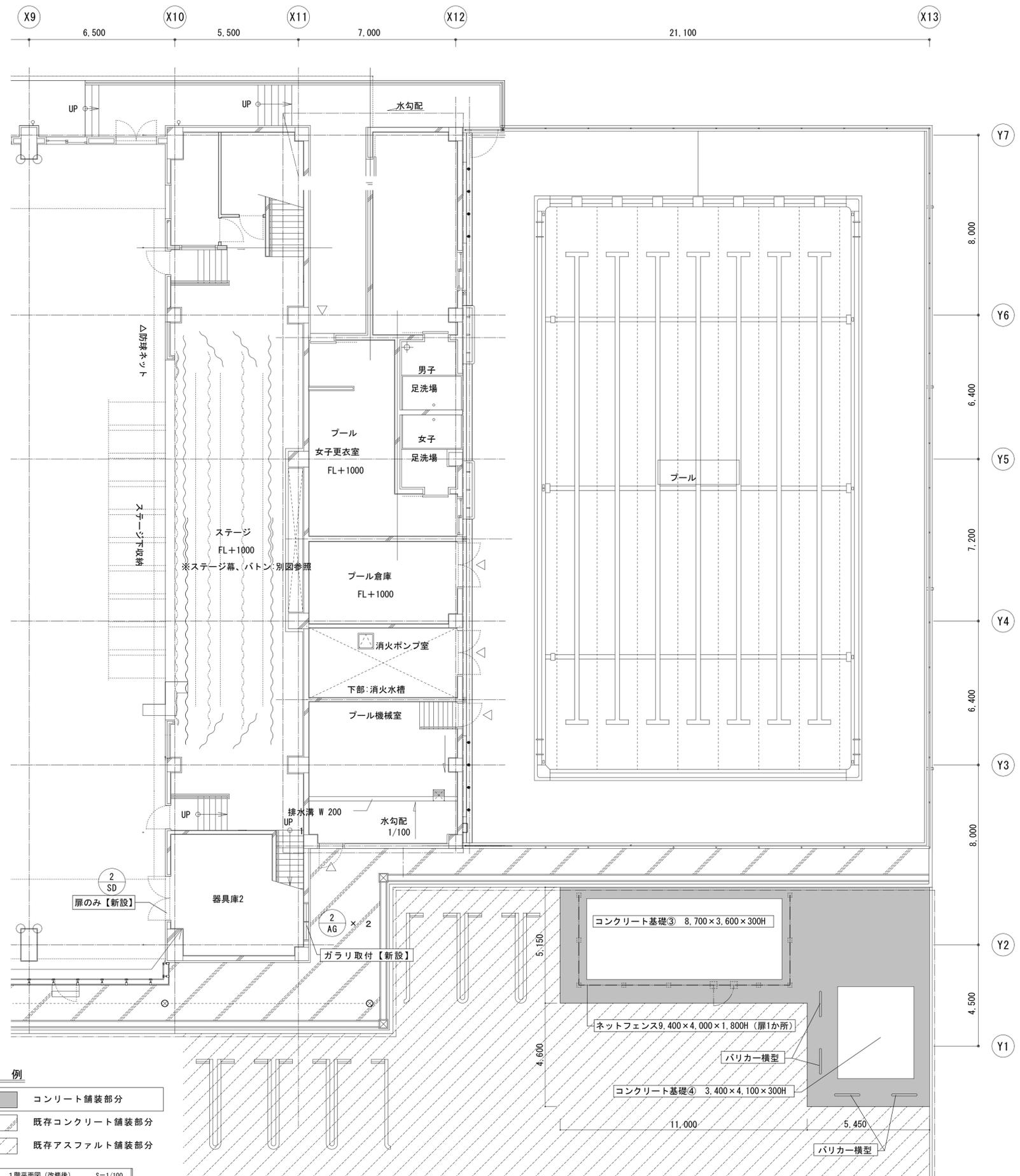
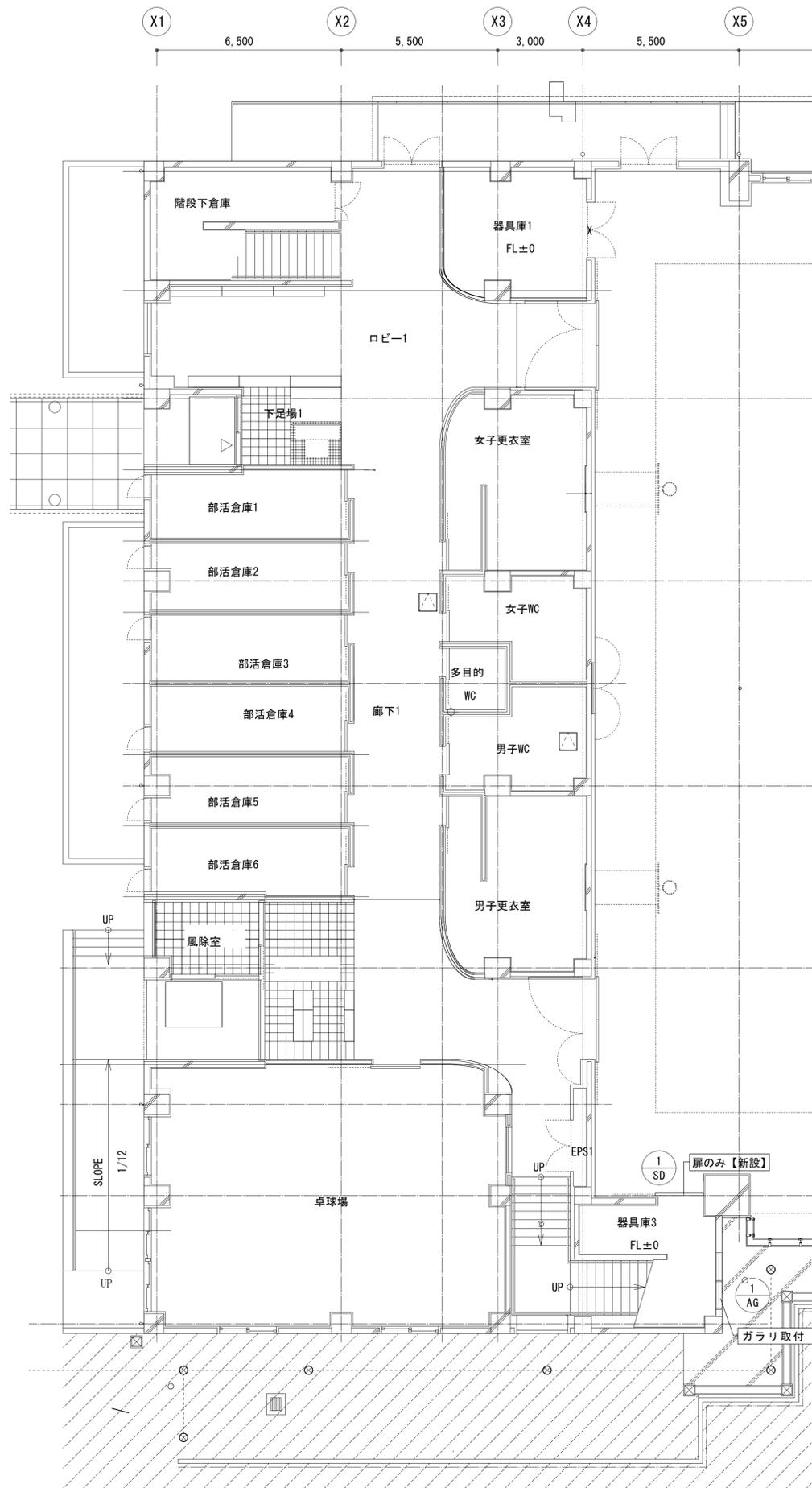
仮設概要

- ・本計画は参考とし、仮設計画・工事は施設側と十分打合せのうえ、施工者の責任にて安全対策を行うこと。
- ・アリーナ部分の床養生は、足場設置前にブルーシート敷きのうえ、合板t=12敷とし、ジャッキベース下は道板敷きとする。
- ・ギャラリー部分の床養生は、足場設置前にブルーシート敷きのうえにベニヤ等で養生を行い、ジャッキベース下は道板敷きとする。
- ・搬入経路の床養生は、床養生シートで養生を行うこと。
- ・施設利用者出入口を工事業者が利用する場合は、施設管理者の了承を得た上、安全対策や養生を考慮すること。
- ・底上に足場を設置するに当たって、梁間に道板等敷き、屋根材を保護すること。また、梁下にはサポートを入れること。

※ 2FL=1FL+5,500

訂	1		(公財) 福岡県建設技術情報センター 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20 1級建築士事務所 福岡県知事登録第1-12290号 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504	工事名称 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事 (アリーナ)	縮尺 A3 1/200 A1 1/100	図面番号 A-07
正	2			図面名称 2階仮設計画図 (参考図)		
	3					
	4					





凡例

- コンクリート舗装部分
- 既存コンクリート舗装部分
- 既存アスファルト舗装部分

1階平面図 (改修後) S=1/100

※コンクリート基礎位置は、総合図でバルクタンク離隔確認後、決定すること。  
 は、今回の工事対象部分

訂	1	
正	2	
	3	
	4	

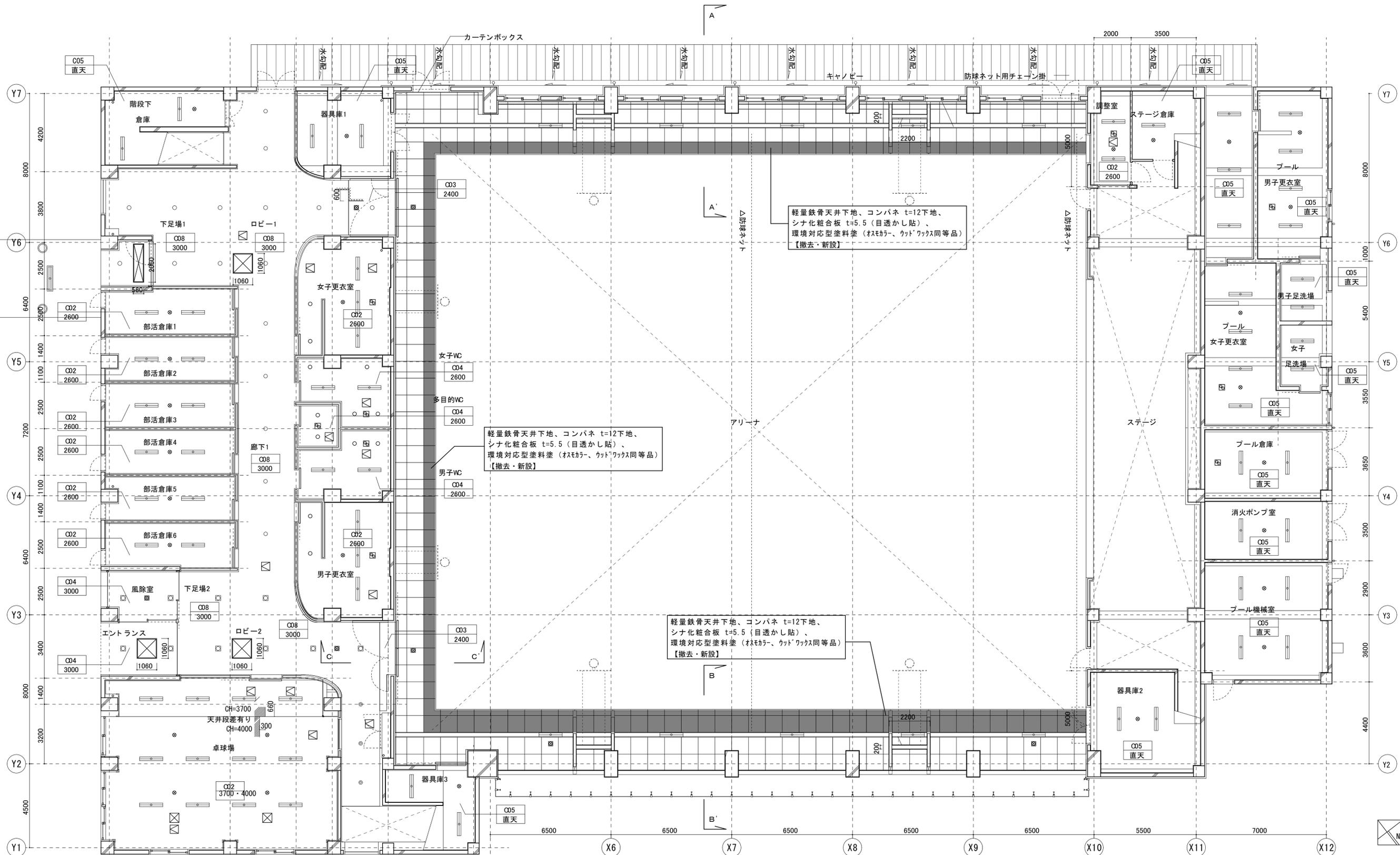
(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事 (アリーナ)  
 図面名称  
 1階平面図 (改修後)

縮尺  
 A3 1/200  
 A1 1/100  
 図面番号  
 A-09







**凡例**

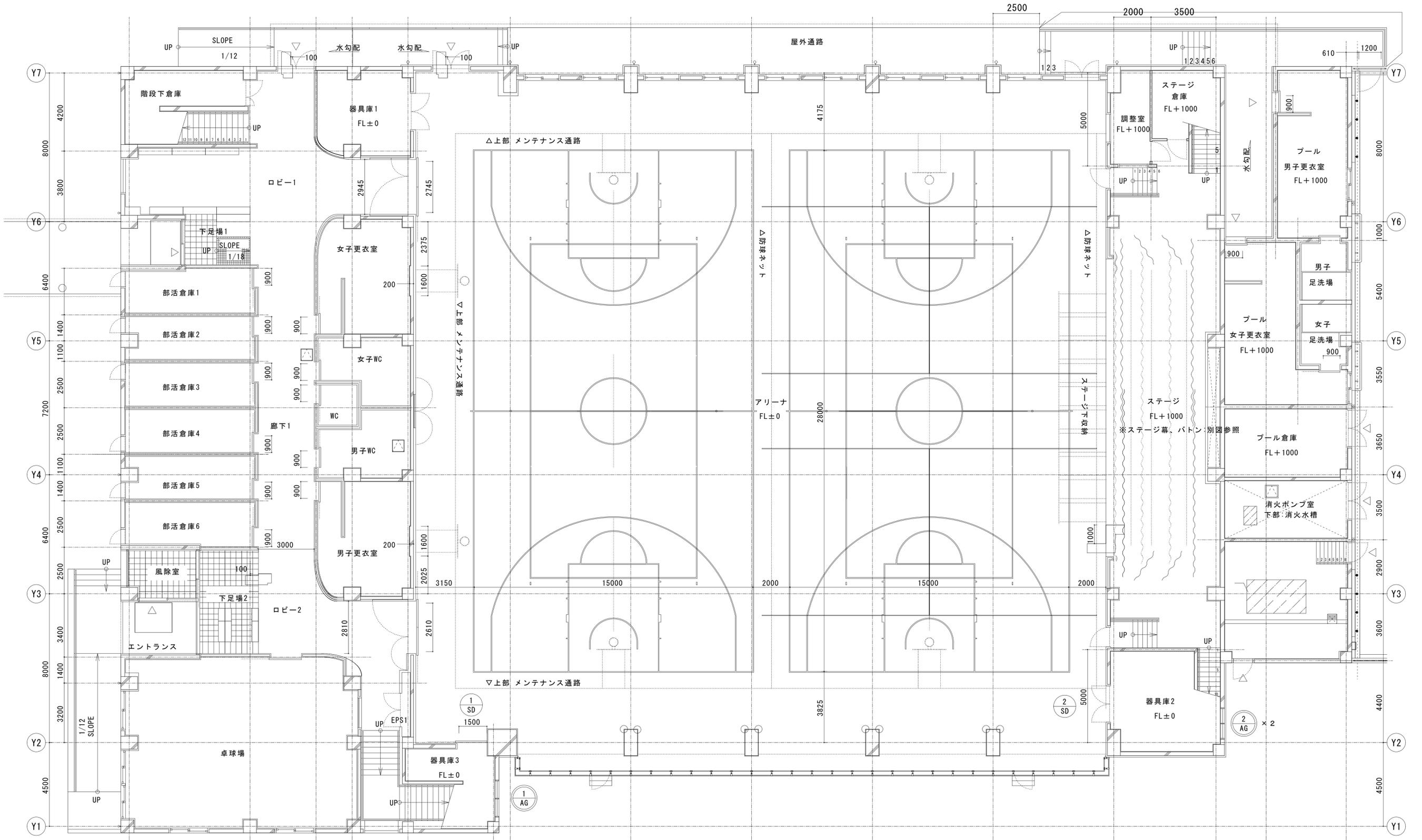
軽量鉄骨天井下地、コンパネ t=12下地、シナ化粧合板 t=5.5 (目透かし貼)、環境対応型塗料塗 (オスモカ-、ウツワックス同等品) 【撤去・新設】部分を示す

1階天井伏図 S=1/100

天井記号・凡例 (既存)			
建築	天井点検口 450□ (A 細目地タイプ) 15ヶ所	機械設備	天井付換気扇(左から天井直付、ニッチ埋込) 制気口(左から天井直付、ニッチ埋込)
電気設備	ダウンライト(天井直付) 蛍光灯(ニッチ内埋込 1250×200×D120) 感知器(天井直付)	ダウンライト(ニッチ内埋込 270□×D60) 天井付スピーカー(天井直付) 感知器(ニッチ内埋込 180□×D9.5)	蛍光灯(天井直付) 天井付スピーカー(ニッチ内埋込 250□×D9.5) 誘導灯(ニッチ内埋込 90×250×D9.5)

仕上記号  
C03  
2700

基準FLからの天井高さ



- 凡例
- ※ 改修建具を示す。
  - ※※ 新設建具を示す。

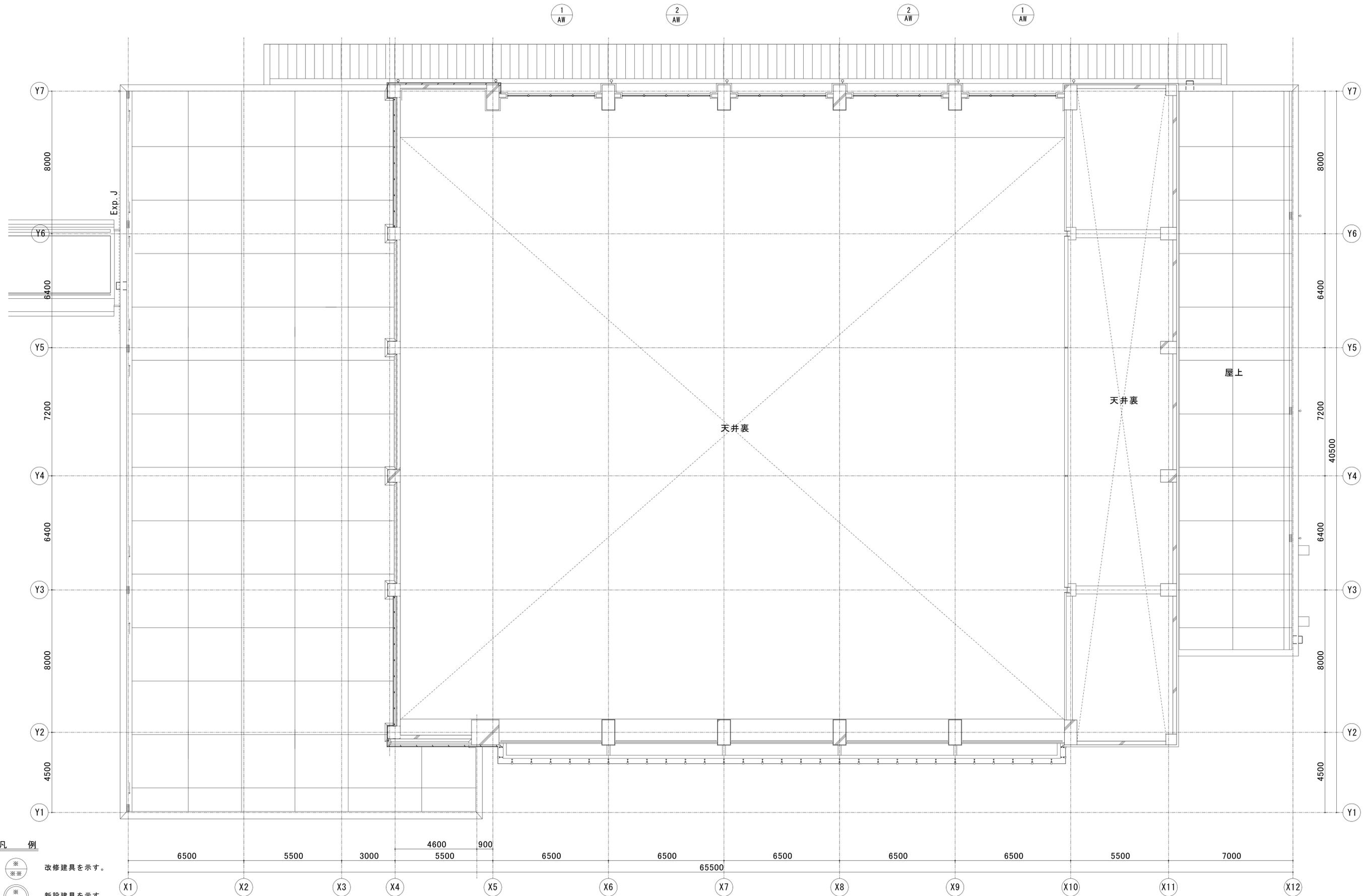
訂	1	
	2	
正	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
 図面名称  
 建具符号図1(1階)

縮尺  
 A3 1/200  
 A1 1/100

図面番号  
 A-13



凡例

※※※ 改修建具を示す。

※※ 新設建具を示す。

訂	1	
	2	
正	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター

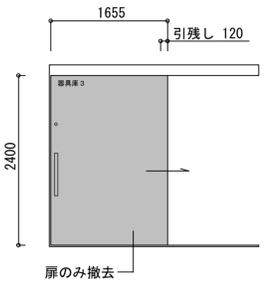
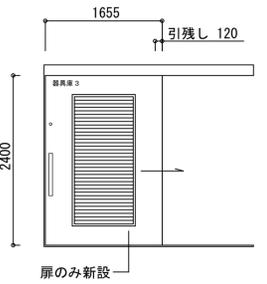
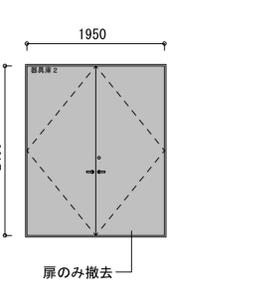
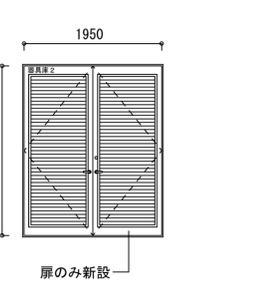
〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理棟築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

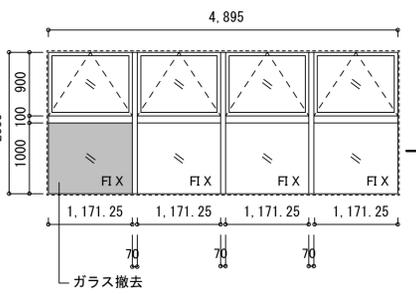
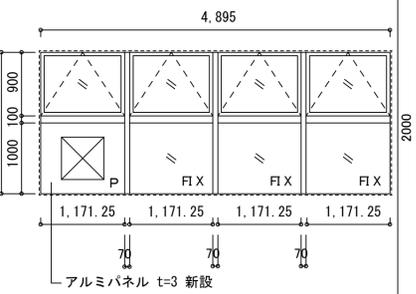
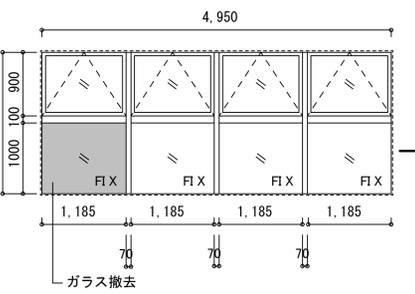
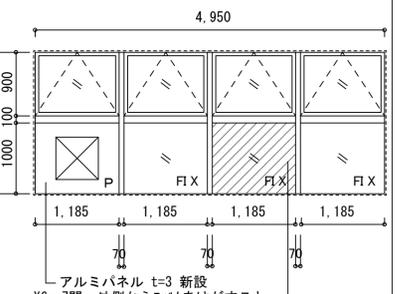
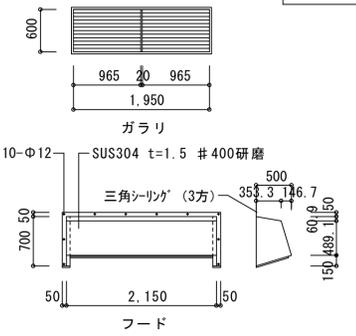
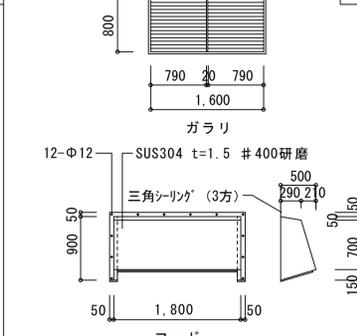
工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)

図面名称  
 建具符号図2(2階上)

縮尺  
 A3 1/200  
 A1 1/100

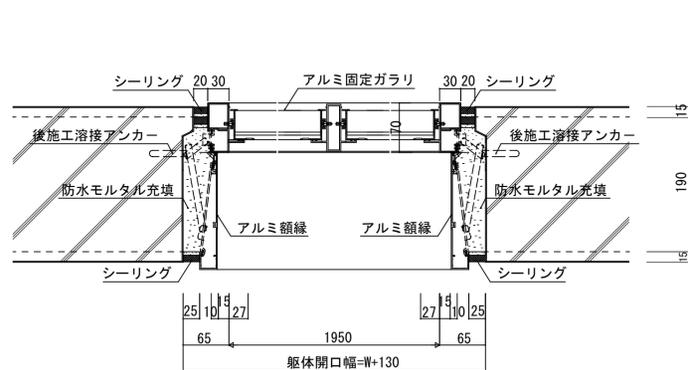
図面番号  
 A-14

符 号	①SD 器具庫 3	1ヶ所	①SD 器具庫 3	1ヶ所	②SD 器具庫 2	1ヶ所	②SD 器具庫 2	1ヶ所		
形 状	改修前 		改修後 		改修前 		改修後 			
型 式	片引きスチール製フラッシュドア (自動閉鎖装置付)		片引きスチール製フラッシュドア (自動閉鎖装置付)		両引きスチール製フラッシュドア		両引きスチール製フラッシュドア			
見 込	枠: 385 扉: 50		扉: 50		枠: 160 扉: 40		扉: 40			
材質・仕上	スチール製 OP		スチール製 SOP		スチール製 OP		スチール製 SOP			
ガラス										
金 物	シリンダー錠、握手、ハンガーレール (既存利用)、付属金物一式		シリンダー錠 (既存マスターに合わせること。) 握手、付属金物一式		シリンダー錠、レバーハンドル、ステンレス丁番 フランス落シ、ドアチェック、付属金物一式		シリンダー錠 (既存マスターに合わせること。) レバーハンドル、ステンレス丁番 フランス落シ、ドアチェック、付属金物一式			
備 考	扉に室名入		扉に室名入 片流れガラリ付 開口率30%以上 (865×1,800)		扉に室名入		扉に室名入 片流れガラリ付 開口率30%以上 (775×2,100) × 2ヶ所			

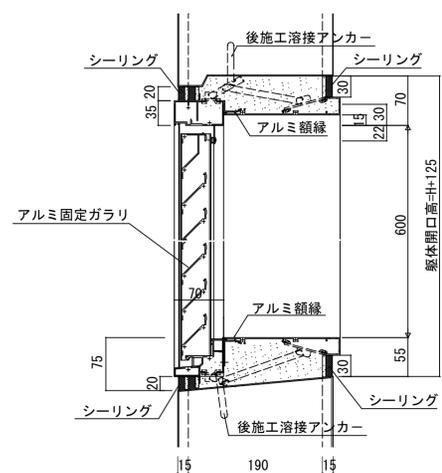
符 号	①AW アリーナ (ギャラリー)	2ヶ所	①AW アリーナ (ギャラリー)	2ヶ所	②AW アリーナ (ギャラリー)	2ヶ所	②AW アリーナ (ギャラリー)	2ヶ所	①AG 器具庫 3	1ヶ所	②AG 器具庫 2	2ヶ所
形 状	改修前 		改修後 		改修前 		改修後 		新 設 		新 設 	
型 式	アルミ製突出し窓+アルミ製FIXガラス窓		アルミ製突出し窓+アルミ製FIXガラス窓		アルミ製突出し窓+アルミ製FIXガラス窓		アルミ製突出し窓+アルミ製FIXガラス窓		アルミ固定ガラリ (防虫網付)		アルミ固定ガラリ (防虫網付)	
見 込	70				70				70		70	
材質・仕上	アルミ製 (シルバー)				アルミ製 (シルバー)				アルミ製 (シルバー)		アルミ製 (シルバー)	
ガラス	フロートガラス t=5		フロートガラス t=5 (既存のまま)		フロートガラス t=5		フロートガラス t=5 (既存のまま)		外部ステンレスフード、付属金物一式		外部ステンレスフード、付属金物一式	
金 物	オペレーター (手動)、付属金物一式				オペレーター (手動)、付属金物一式				外部ステンレスフード、付属金物一式		外部ステンレスフード、付属金物一式	
備 考	※撤去位置は、立面図・展開図 1 を正とする。		アルミパネル t=3 (設備用開口600角) ※新設位置は、立面図・展開図 1 を正とする。		※撤去位置は、立面図・展開図 1 を正とする。		アルミパネル t=3 (設備用開口600角) ※新設位置は、立面図・展開図 1 を正とする。 X6~7間の窓の一部、外部からフィルムをはがすこと。		片流れ 開口率43.5%以上		片流れ 開口率43.5%以上	

AG-1 詳細図 (参考図)

S = 1 / 5

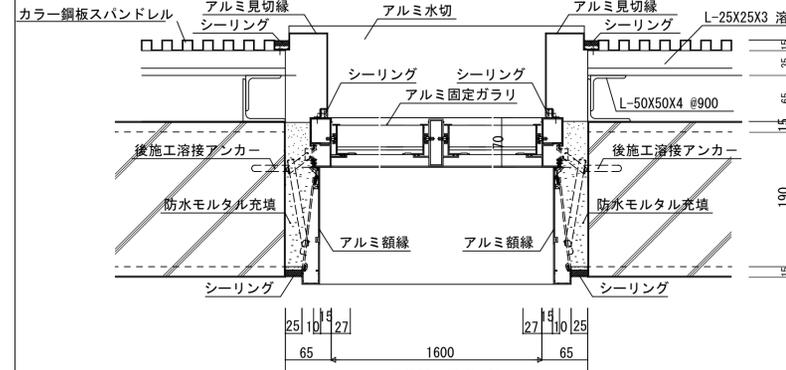


※既存コンクリートはカッターを入れて撤去すること。  
※外部の建具の周囲はアクリル系吹付タイルにより補修を行うこと。

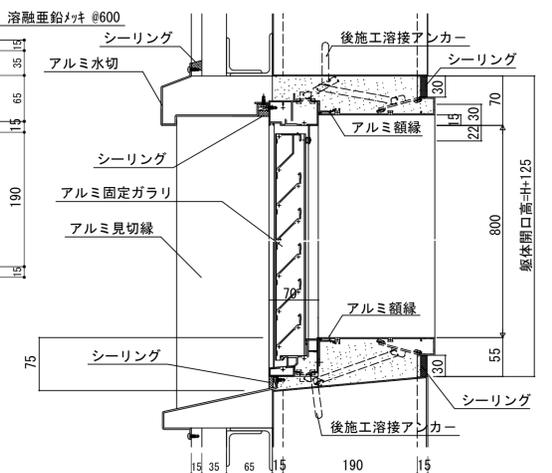


AG-2 詳細図 (参考図)

S = 1 / 5



※既存コンクリートはカッターを入れて撤去すること。  
※既存カラー鋼板スパンデル下地位置を確認し、カッターを入れて撤去すること。  
※既存カラー鋼板スパンデルは、開口廻りに開口補強を設置すること。



建具は現地採寸の上、承認図を提出し、監督員の承諾を得たのちに制作に掛かること。

訂

1

2

3

4

正

(公財) 福岡県建設技術情報センター

〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
1級建築士 第298550号 管理棟築士 田中 希代  
TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称

鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事 (アリーナ)

図面名称

建具表、建具詳細図 (参考図)

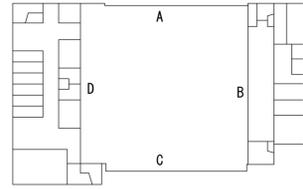
縮尺

A3 1/100、10

A1 1/50、5

図面番号

A-15



アリーナ

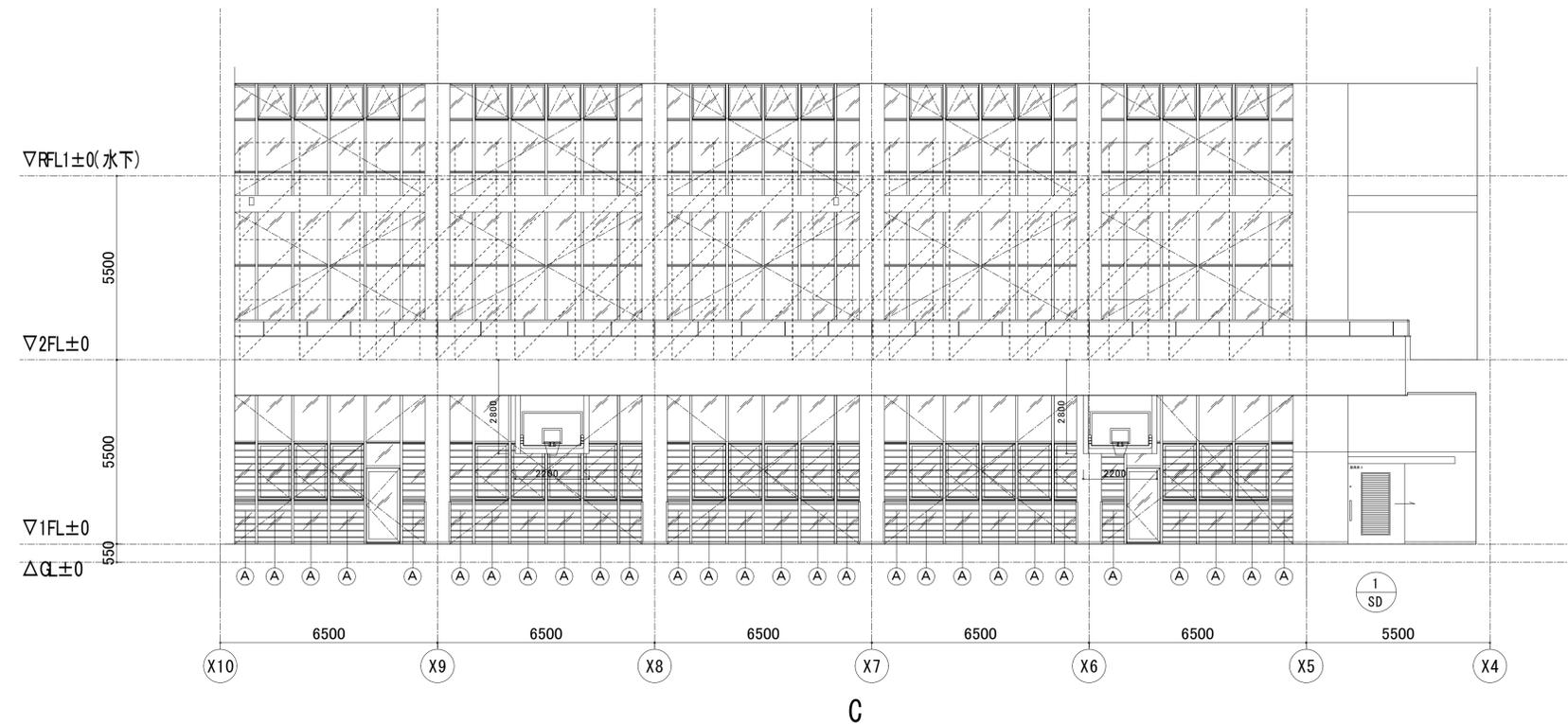
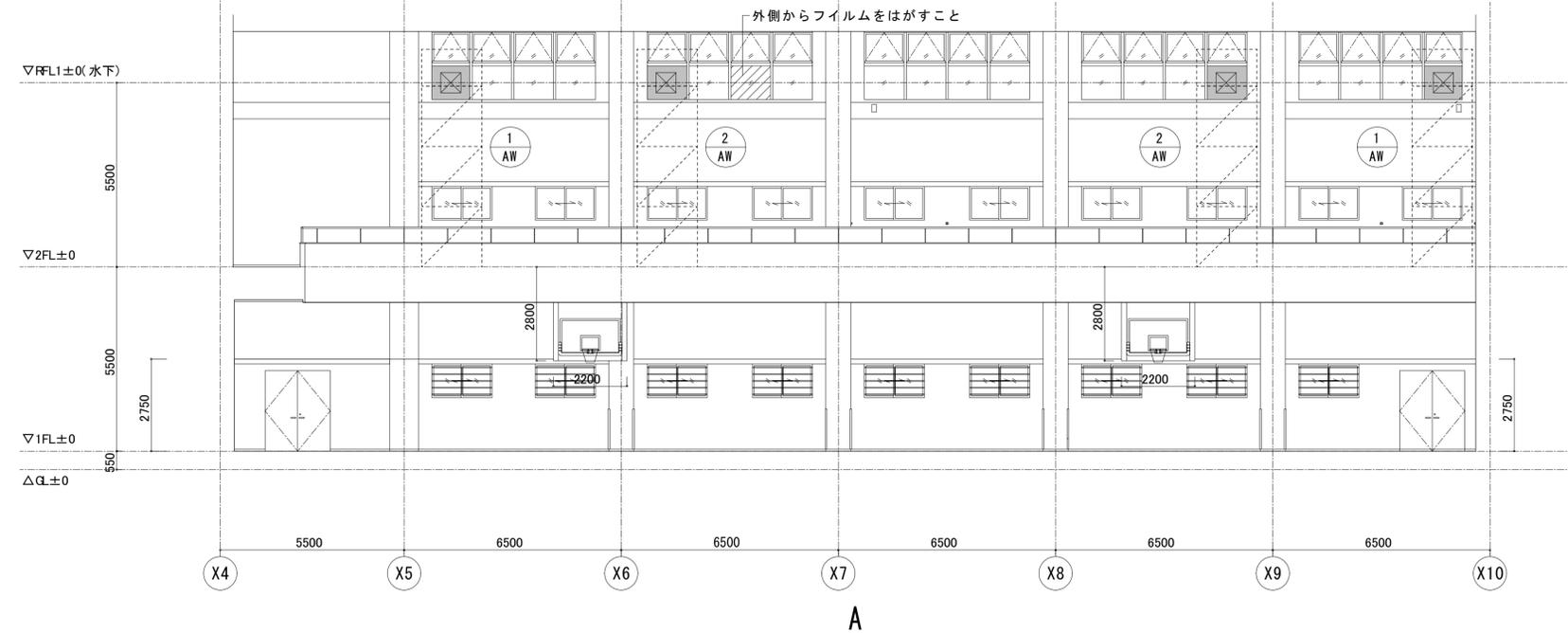
凡 例

■ 建具改修箇所を示す。

※ 改修建具を示す。

※ 新設建具を示す。

くさび緊結式足場（手摺先行方式）+最上部ブラケット持ち出し  
+メッシュシート計画位置を示す。



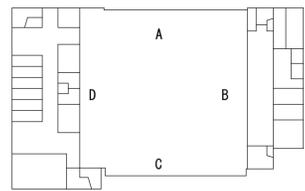
訂	1	
	2	
正	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理棟 篠栗中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事（アリーナ）  
 図面名称  
 展開図 1（改修後）

縮尺  
 A3 1/200  
 A1 1/100

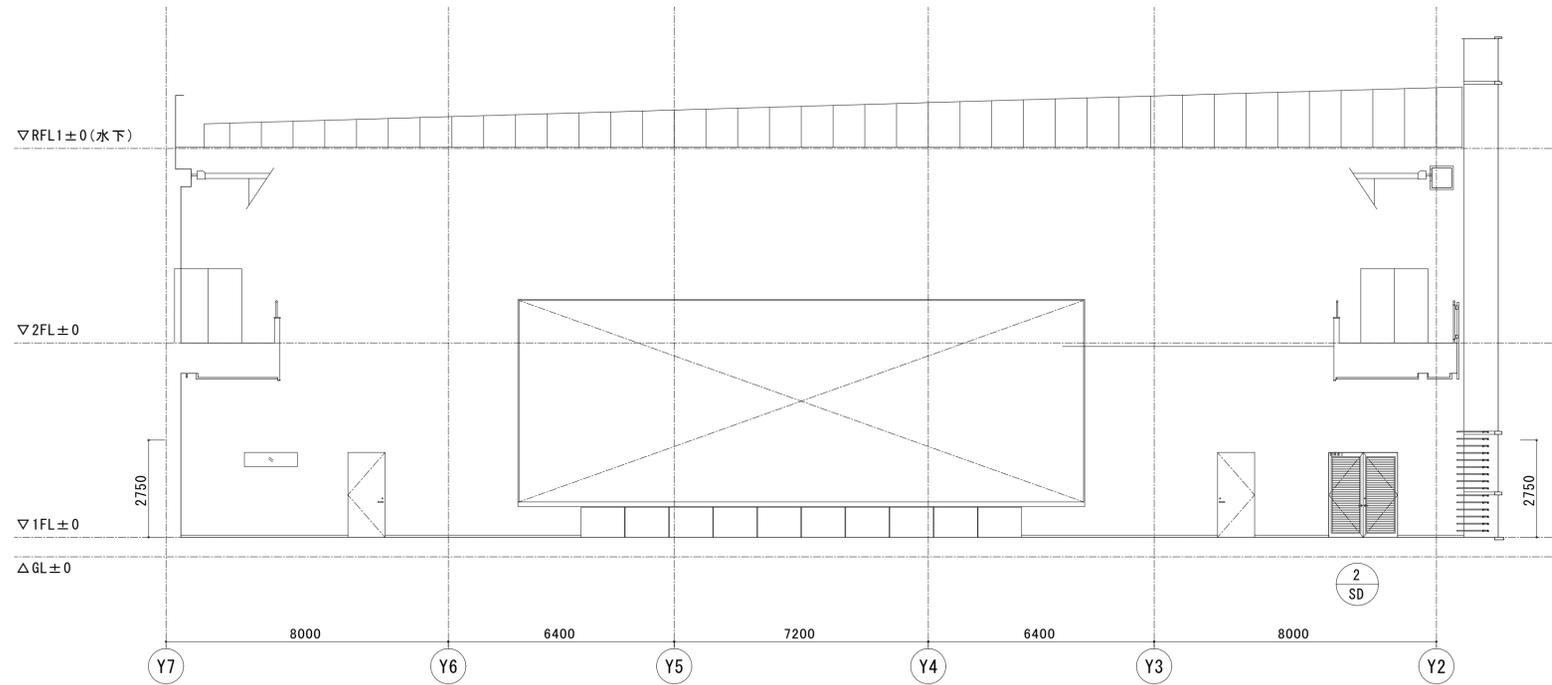
図面番号  
 A-16



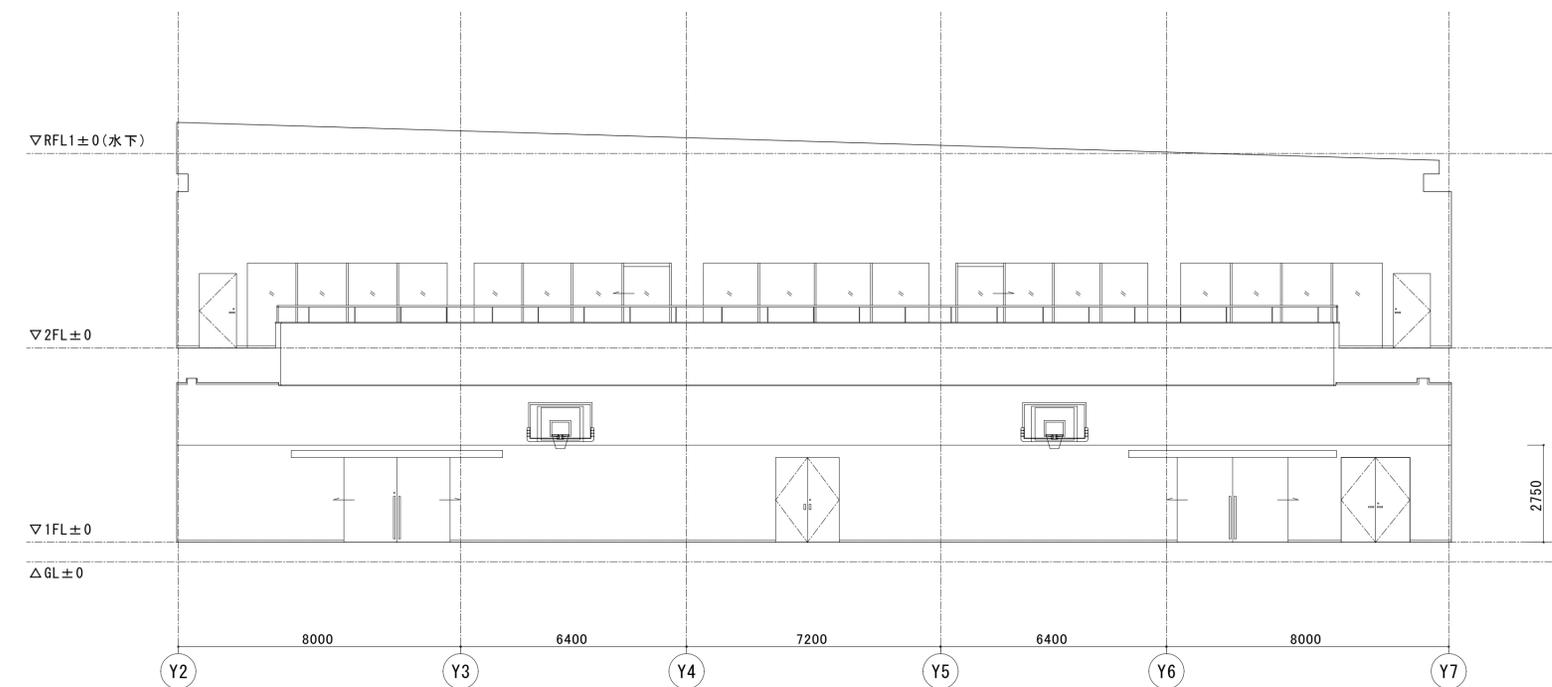
アリーナ

凡 例

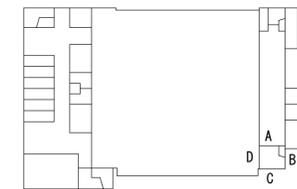
- 建具改修箇所を示す。
- ※ 改修建具を示す。
- ※※ 新設建具を示す。



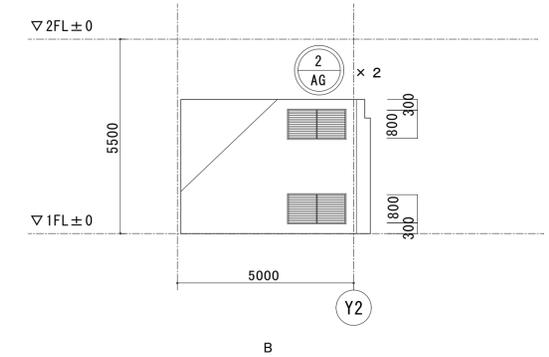
B



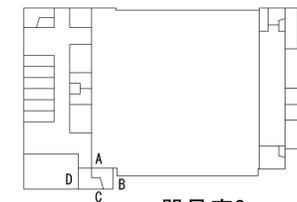
D



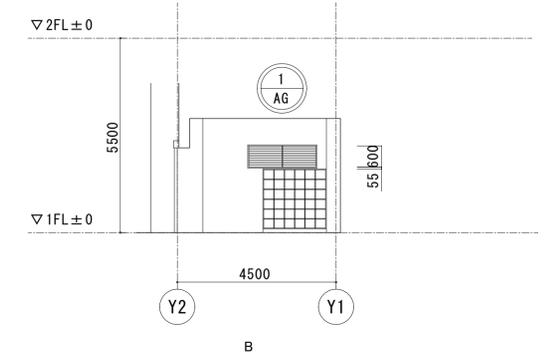
器具庫2



B



器具庫3



B

※建具取付位置は、現場採寸後、位置を決定すること。

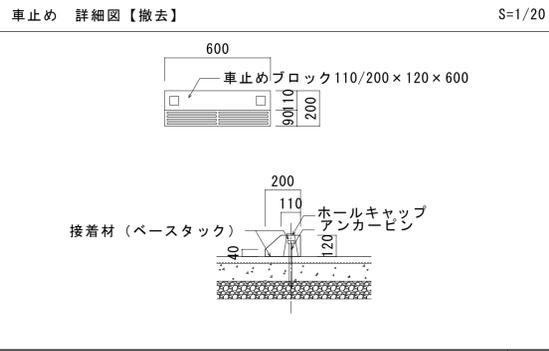
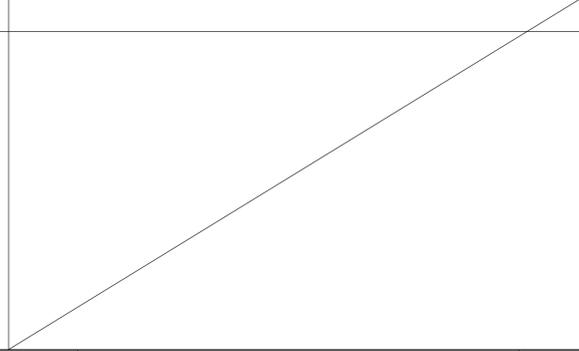
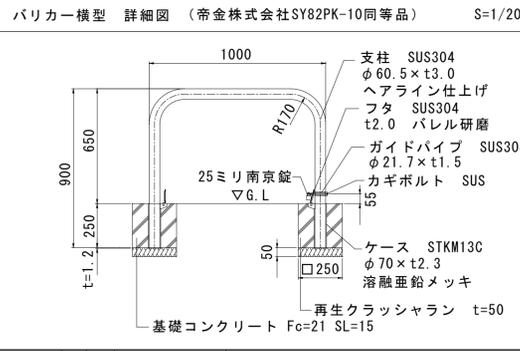
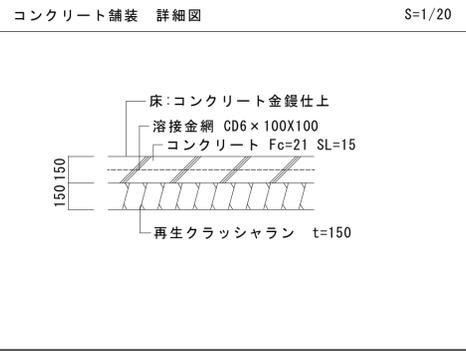
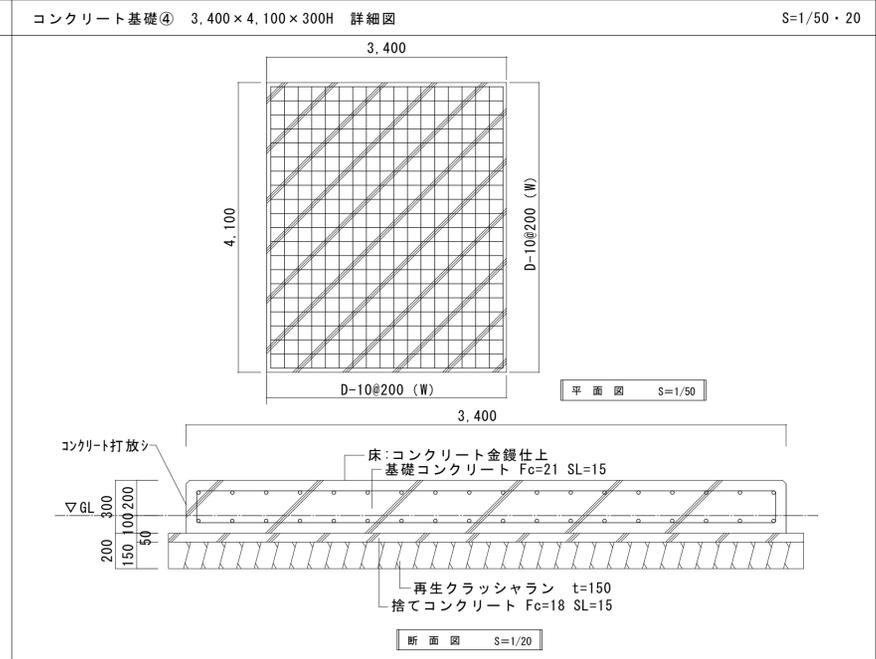
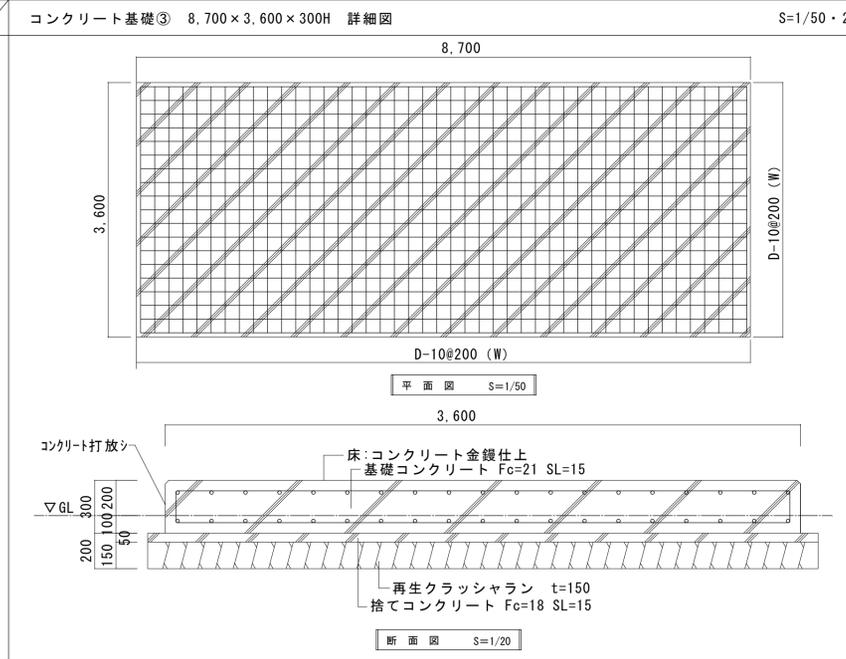
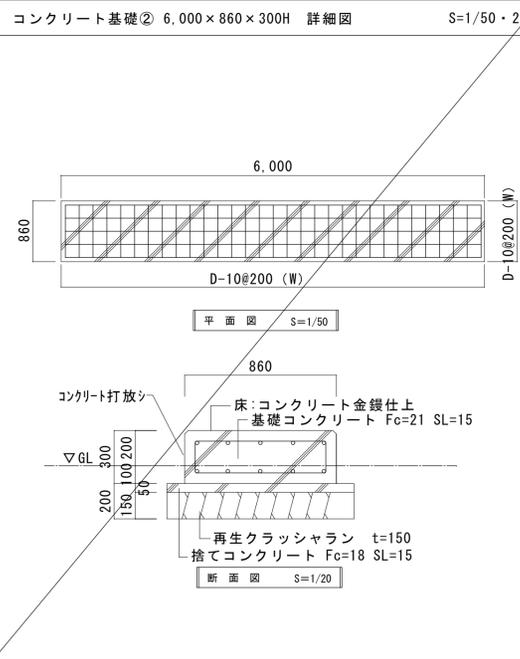
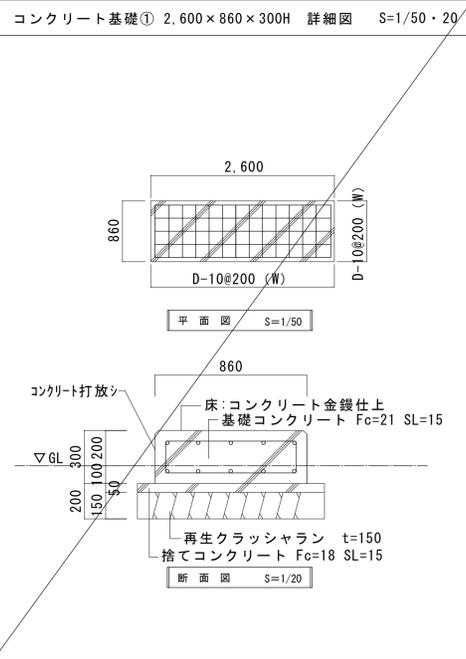
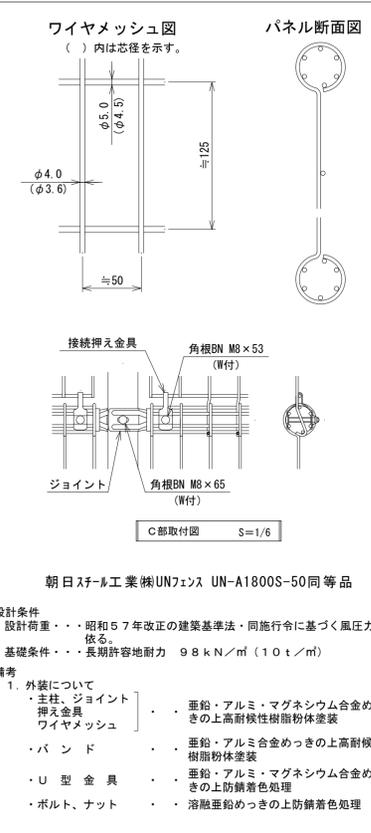
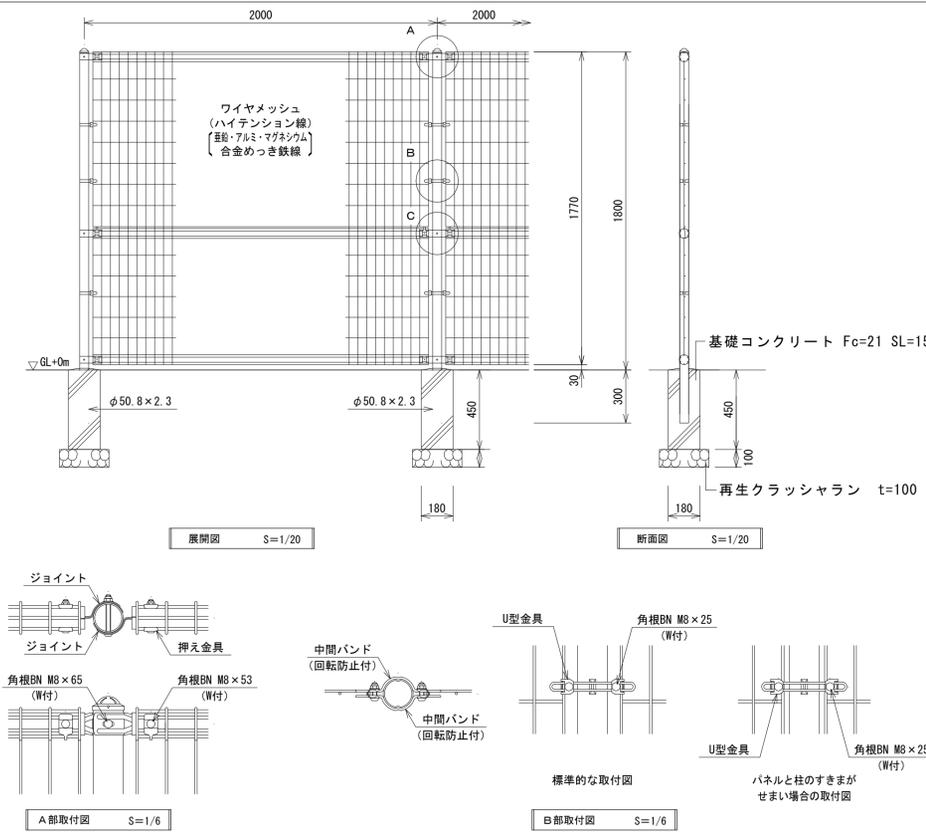
訂	1	
	2	
正	3	
	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事(アリーナ)  
 図面名称  
 展開図 2 (改修後)

縮尺  
 A3 1/200  
 A1 1/100

図面番号  
 A-17



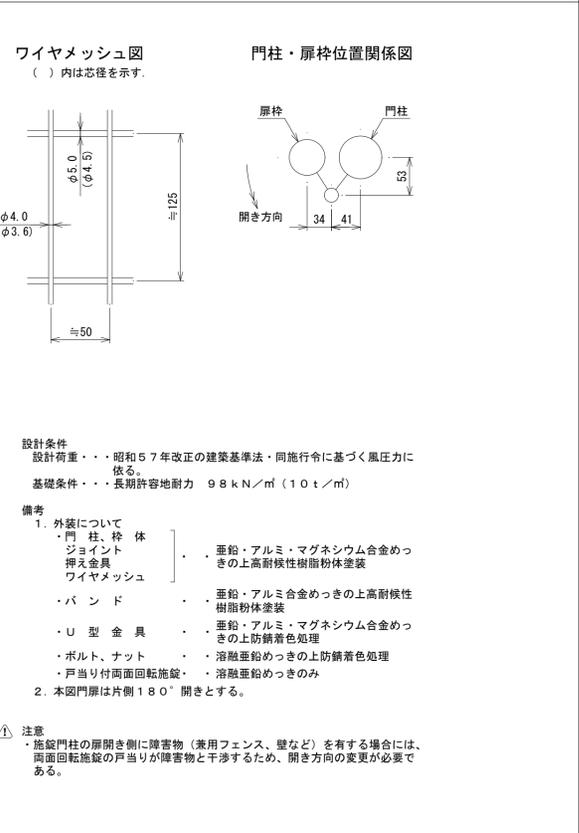
※コンクリート舗装、捨てコンクリート以外は、コンクリートの構造体強度補正を行うこと。

訂	1	
訂	2	
正	3	
訂	4	

(公財) 福岡県建設技術情報センター  
 〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町中 3丁目10-20  
 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-12290号  
 1級建築士 第298550号 管理建築士 田中 希代  
 TEL 092-947-2493 FAX 092-947-2504

工事名称  
 鞍手町立鞍手中学校体育館棟空調設備新設工事 (アリーナ)  
 図面名称  
 屋外付帯詳細図

縮尺  
 A3 1/100、40、12  
 A1 1/50、20、6  
 図面番号  
 A-18



設計条件  
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。  
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m<sup>2</sup> (10 t/m<sup>2</sup>)

備考  
 1. 外装について  
 ・門柱、枠体  
 ・ジョイント  
 ・押え金具  
 ・ワイヤメッシュ  
 ・バンド  
 ・U型金具  
 ・ボルト、ナット  
 ・戸当り付両面回転施錠  
 ・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装  
 ・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装  
 ・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理  
 ・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理のみ  
 ・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

2. 本図門扉は片側180°開きとする。

注意  
 ・施錠門柱の扉開き側に障害物 (兼用フェンス、壁など) を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。